

鹿児島大学大学院理工学研究科

博士前期課程

学 生 募 集 要 項

**Application Procedures
Admission to the Master's Course**

[令和7年度]

(第1次募集・第2次募集)

Admission in 2025

(1st and 2nd application periods)

一 般 選 抜

(学部3年次生を対象とする選抜を含む)

推 薦 特 別 選 抜

他分野入学志願者特別選抜

社 会 人 特 別 選 抜

外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

(International Students Special Admissions)

鹿児島大学大学院理工学研究科

Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University

目 次

I. 共通事項	頁
○令和7年度 鹿児島大学大学院理工学研究科 博士前期課程 入試日程 [第1次募集] [第2次募集]	3
○募集人員	4
○理工学研究科博士前期課程における入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	5
II. 一般選抜, 推薦特別選抜, 他分野入学志願者特別選抜及び社会人特別選抜にかかる共通事項	
1. 募集要項に関する問い合わせ先及び出願書類等提出先	18
2. 各専攻 (プログラム) についての問い合わせ先	18
3. 障害のある入学志願者の事前相談	18
4. 出願書類等に関する留意事項	19
5. 検定料の納入について	19
6. 合格者発表	20
7. 入学手続	20
8. 入学料免除	20
9. 入学料徴収猶予	21
10. 授業料免除	21
11. 奨学金	21
12. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	21
13. 長期履修学生制度について	21
14. 個人情報の取扱いについて	22
15. その他	22
入試情報開示	22
付録 「UCL 稲盛留学生制度」について	24
III. 一般選抜 (学部3年次生を対象とする選抜を含む)	
1. 出願資格	25
2. 出願資格認定審査	25
3. 募集人員	26
4. 出願期間	26
5. 出願書類等	27
6. 一般選抜の TOEIC・TOEFL スコアの提出等について	28
7. 入学者の選抜方法	28
8. 試験日時、試験場、試験科目等	29
学部3年次生を対象とする選抜の事前審査等について (第1次募集のみ)	32
1. 事前審査を受けるための要件	32
2. 事前審査のために必要な書類	32
3. 事前審査書類の提出期間	32
4. 提出先	32
5. 事前審査の結果	32
6. 入学試験について	32
7. 合格者発表及び入学資格要件の審査について	32
8. 注意事項	32
IV. 推薦特別選抜	
1. 趣旨	33
2. 推薦要件 (対象者)	33
3. 募集人員	33
4. 出願期間	33

5. 出願書類等	34
6. 入学者の選抜方法	34
7. 試験日時及び試験場等	35
V. 他分野入学志願者特別選抜	
1. 趣旨	37
2. 募集人員	39
3. 出願資格	39
4. 出願期間	39
5. 出願書類等	40
6. 他分野入学志願者特別選抜の TOEIC・TOEFL スコアの提出等について	41
7. 入学者の選抜方法	41
8. 試験科目・日時及び試験場等	44
9. 出願資格事前審査	45
VI. 社会人特別選抜	
1. 趣旨	51
2. 出願資格	51
3. 出願資格認定審査	52
4. 募集人員	52
5. 出願期間	52
6. 出願書類等	53
7. 入学者の選抜方法	54
VII. 外国人留学生特別選抜	
APPLICATION PROCEDURES FOR INTERNATIONAL STUDENTS SPECIAL ADMISSIONS	
1. 募集人員 (Admission Capacity)	55
2. 出願資格 (Qualification for Application)	55
3. 出願資格認定審査 (Eligibility Check before Application)	57
4. 出願手続 (Application Procedure)	57
5. 出願書類等 (Application Documents)	59
6. 入学者の選抜方法 (Screening and Examination Procedure)	61
7. 外国人留学生特別選抜の外国語について (International Students Special Admissions: Foreign Language Examinations)	61
8. 試験科目・日時及び場所 (Selected subjects of examination, Date and Place of Examination)	65
9. 合格者発表 (Notification of Results)	69
10. 入学手続 (Entrance Formalities)	69
11. 全般的な注意事項 (General Instructions)	71
VIII. 大学院理工学研究科博士前期課程の概要 (令和6年度)	73
IX. 令和6年度 入学者選抜に関する入試状況	87
○入学志願関係様式	
APPLICATION FOR ADMISSION (MASTER'S COURSE)	

I. 共通事項

○令和7年度 鹿児島大学大学院理工学研究科 博士前期課程 入試日程

【第1次募集】

区 分	出願資格審査 の申請期間	出願資格審査 の結果通知日	出願期間	試 験 日	合格者発表 時 日	入学手続日
一 般 選 抜 (学部3年次生を対象 とする選抜を含む)	令和6年 8月6日(火) ～8日(木)	令和6年 8月29日(木)	1回目: 令和6年 8月6日(火) ～8日(木)	令和6年 10月5日(土)	令和6年 10月21日(月) 10時	令和7年 3月13日(木) ～ 14日(金)
推 薦 特 別 選 抜						
他分野入学志願者 特 別 選 抜	令和6年 8月6日(火) ～8日(木)	令和6年 8月29日(木)	2回目: 令和6年 9月2日(月) ～3日(火)			
社 会 人 特 別 選 抜						
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜						

(注1) 「出願資格審査の申請期間」及び「出願資格審査の結果通知日」欄は、該当者のみ対象。
該当者は2回目の出願期間に出願すること。

(注2) 出願資格審査の不要な者は、原則1回目の出願期間に出願すること。

【第2次募集】

区 分	出願資格審査 の申請期間	出願資格審査 の結果通知日	出願期間	試 験 日	合格者発表 時 日	入学手続日
一 般 選 抜	令和6年 11月26日(火) ～ 27日(水)	令和6年 12月18日(水)	令和7年 1月7日(火) ～ 9日(木)	令和7年 2月17日(月)	令和7年 3月4日(火) 10時	令和7年 3月13日(木) ～ 14日(金)
社 会 人 特 別 選 抜						
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜						

(注1) 学部3年次生を対象とする選抜の第2次募集は行わない。

(注2) 「出願資格審査の申請期間」及び「出願資格審査の結果通知日」欄は、該当者のみ対象。

(注3) 第2次募集は、原則として第1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施する。第2次募集の実施については、11月以降鹿児島大学理工学研究科ホームページ (<https://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) で公表する。

問い合わせ先・出願書類等提出先 Please address your inquiries to:

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話 (099) 285-3057・8234 FAX (099) 285-3410

E-mail: sedaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

○募集人員

専攻名等	募 集 人 員						
	目安の定員	一選	一般抜	推 特 選	薦 別 抜	他分野 入学志願者 特別選抜	社 会 人 別 抜
理学専攻	物理・宇宙プログラム	17人	25人	25人	4人	若干人	若干人
	化学プログラム	20人					
	生物学プログラム	11人					
	地球科学プログラム	6人					
工学専攻	機械工学プログラム	48人	80人	90人	8人	若干人	若干人
	電気電子工学プログラム	44人					
	海洋土木工学プログラム	16人					
	化学工学プログラム	17人					
	化学生命工学プログラム	25人					
	建築学プログラム	28人					
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース	74人	74人	35人	35人	4人	若干人
	認知生体情報コース						
	協創情報コース						

(注1)「目安の定員」はおおよその人数であり、志願状況等により増減があります。

(注2)「推薦特別選抜」及び「他分野入学志願者特別選抜」の合格者数が募集人員に満たない場合には、その欠員は「一般選抜」の募集人員に含めます。

○理工学研究科博士前期課程における入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

〈教育目標〉

鹿児島大学大学院理工学研究科の理念は、「真理を愛し、高い倫理観を備え、自ら困難に挑戦する人格を育成し、時代の要請に対応できる教育研究の体系と枠組みを創成することによって、地域並びに国際社会の進展に寄与する」です。この理念を受けて、「理工学に関する基礎から応用にわたる学術の真理と理論を教授研究し、その深奥を極めて文化の進展に寄与する人材の育成」を目的とし、そのため、「今日の諸課題に対応できる倫理的判断力及び人間生活を取り巻く自然についての総合的な知識をもち、自然科学に関する学問の高度化と多様化に幅広く柔軟に対応できる、次世代を担う技術者、研究者、さらには高度専門職業人を養成する」ことを目標としています。

〈入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)〉

1. 求める人材像

- ・理工学研究科の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人
- ・理工学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持ってさまざまな課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ・理工学分野のさまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- ・専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を大切にし、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、志望する専攻の専門的分野の知識・技術、及び外国語(英語)の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語(英語)の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績(業務)報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語(英語及び日本語)の能力、適性・意欲等を評価します。

【理学専攻における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

理学専攻は、自然科学の知識と研究経験を生かして、地域ならびに国際社会の発展に積極的に貢献する技術者、研究者、教育者など高度専門職業人を養成することを教育目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・理学専攻の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人
- ・理学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持って諸課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ・理学分野のさまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- ・専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を大切にし、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、理学専攻の専門的分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【工学専攻における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

工学専攻は、工学に関連した高度な専門知識・学力・応用力に加え、専門以外の幅広い知識や高度な倫理観やコミュニケーション能力を身につけ、地域並びに国際社会のニーズ変化に対して自立的で実践的に

対応できる高度なエンジニアリング・デザイン能力をもった高度専門職業人を養成することを教育目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・工学専攻の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人
- ・工学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持って諸課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ・工学分野のさまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- ・専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を大切に、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、工学専攻の専門的分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【情報科学専攻における入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

情報科学専攻は、数学及び情報科学の知識と研究経験を活かして、地域ならびに国際社会の発展に積極的に貢献する技術者、研究者、教育者等高度専門職業人を養成することを教育目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・情報科学専攻の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人
- ・情報科学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持ってさまざまな課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ・さまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、情報科学分野の知識と技術を用いた論理的解析能力の研鑽を目指す人
- ・専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を尊重し、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、情報科学専攻の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【物理・宇宙プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

物理・宇宙プログラムでは、世界に通用する物質科学や宇宙科学に関連した教育・研究を行っています。大学院教育・研究により培った問題解決能力を活かして、専門的知識を持った創造的で指導的な役割を担う社会人の育成を目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

本プログラムの教育目的（ディプロマ・ポリシー）を理解し、必要な教育を受けると共に研究活動を

通じて高度の専門能力を修得しようとする十分な意欲とそれに必要な基礎学力を有する人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、物理学または天文学に関する専門的知識及び技術が必要になります。また、海外の研究者と的確な情報交換ができるだけの外国語（主として英語）能力を修得していることを求めます。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、当該志願者の専門分野の知識に加え、物理学または天文学に関する基礎的な知識及び外国語の能力が必要になります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識、能力、適性、意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、物理学または天文学に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、希望する研究内容に関するプレゼンテーション・口頭試問・出身学校の成績・志望理由書・TOEIC 又は TOEFL のスコアによって、物理学または天文学に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、物理学または天文学に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【化学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

化学プログラムの教育理念は、「基礎知識と応用力を兼ね備えた人材」「大学院で身に付けた能力を、地域や国際社会で活用できる人材」「急激な社会の変化に対応でき、さらなる発展に寄与できる人材」の育成です。教育と研究を通して、高度の専門能力を備えた人材を輩出することを目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・化学プログラムの教育理念を理解し、それを実現できる学力と意欲を持っている人材
- ・化学に関わる研究分野に興味を持ち、その発展に対する貢献に熱意がある人材
- ・化学の研究を通して、高い倫理観を持ちつつ科学や社会の発展に寄与したいと思う人材
- ・合理的で柔軟な科学的思考力を有しており、研究の内容や計画について簡潔明瞭に発表・説明できる人材

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

化学に関する基礎的な知識と実験技術・観察力を有していることが必要です。また、研究に必要な知識や情報を収集するため、学術論文を読解するための英語の語学力並びにコミュニケーション力が必要となります。

他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、化学に関する専門分野の知識及び英語の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び研究計画書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等を踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び研究（希望）計画書、業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【生物学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

生物学プログラムの教育理念は主に2点あります。

(1) 生物学の幅広い知識と技術応用力をあわせ持ち、幅広い分野で活躍することのできる人材を育成する。

(2) 地域ならびに国際社会で科学、技術の発展に貢献する人材を育成する。

この理念を達成するため、教育理念を理解し、教育・研究を通して、高度の専門能力を備えた人材を輩出することを目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

(1) 生物学プログラムの教育理念を理解し、それを実現できる学力と意欲を持っている人材

(2) 生物に関わる研究分野に興味を持ち、その発展に対する貢献に熱意のある人材

(3) 生物の研究を通して、高い倫理観をもって、科学あるいは社会の発展に寄与したいと思う人材

(4) 合理的で柔軟な科学的思考力を有しており、研究の内容や計画について簡潔明瞭に発表・説明できる人材

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

生物に関する知識と実験技術を有していることが必要です。また、研究に必要な知識や情報を世界中から収集するため、英語の語学力並びにコミュニケーション力が必要となります。他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、生物に関する専門分野の知識・技術、及び英語の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び研究計画書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等を踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び研究（希望）計画書、業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【地球科学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

人間が生存する場である地球について高度な専門的知識を持ち、倫理的判断力を備えた創造的で指導的な役割を担う専門的職業人の育成を目指しています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

地球科学プログラムの教育目標を理解し、教育研究を通して高度の専門知識を修得しようとする意志とその為に必要となる十分な基礎学力を有する人。

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

地球科学プログラムでは、物理学、化学、生物学、および地学分野をベースとした研究・教育を行うため、これらのいずれかの分野の専門的知識や、実際に実験観察等を行うための技術も必要となります。また、英文の学術論文を理解するための外国語（英語）能力も必要です。

他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び研究計画書等も踏まえ、教

育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【機械工学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

機械工学プログラムで取り扱う教育研究の範囲は、材料の物性と強度、構造物設計、機器の設計と制御、生産加工、熱・流体が関与する諸現象、エネルギー利用技術、各種工学現象の解明や機械設計への計算機利用技術並びに各種システム構成技術などです。本プログラムでは、学部教育課程での機械工学基礎教育を踏まえ、機械技術の高度化と先端化を追求するために必要な知識を積極的に取り入れて応用することのできるエンジニアの育成を目指しています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

機械工学プログラムの教育目標を踏まえ、本プログラムは次のような人を求めます。

- ・ 総合的かつ長期的視野と高い倫理観を持って、機械工学の立場から、人類社会への貢献を志す人
- ・ 種々の機械工学的課題の本質を解明することができる基礎学力と探究意欲を持ち、その原理に基づいて課題を解決する展開力を継続的に研鑽する人
- ・ 種々の機械工学的課題に対して、課題解決の計画を立案し、個人・チーム力の総力を発揮して、課題に臨む計画能力およびコミュニケーション能力のある人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、機械工学に関する基礎的な知識と技能及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野に関する知識と技能、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、機械工学の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、

教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、機械工学の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる能力・適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、機械工学の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、機械工学の専門分野に関する知識・能力、外国語（日本語及び英語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【電気電子工学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

電気電子工学プログラムでは、高度情報化社会を先導する産業活動の中で、世界をリードする技術を追求できる専門的な能力と倫理的判断力を持った創造的で指導的な役割を担う専門的職業人の育成を目指しています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

以下に示す電気電子工学プログラムの教育目的を理解し、本プログラムにおける教育研究を通して高度の専門能力を修得しようとする十分な基礎学力を有する人

- ・多様かつ動的に変化する社会の要請に対し、幅広い視野から高度の専門能力を駆使して柔軟かつ迅速に対応できる人材を育成すること
- ・電気電子工学関連の新しい技術を自ら創出して課題を解決する創造的能力を持つ人材を育成すること
- ・高度情報化社会をリードする意欲に富み、かつ地域並びに国際社会への貢献に対する使命感を持つ人材を育成すること

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

電気電子工学プログラムの専門分野の基礎的知識・技術及び外国語（英語）の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野に関する知識・技能、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（日本語及び英語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【海洋土木工学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

海洋土木工学プログラムでは、海洋学と土木工学に関わる高度な専門教育並びに研究活動を通じて、土木工学及び海洋学に関する深い知識と判断力、高い倫理観を有する専門的職業人の育成を目指しています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・本プログラムの教育目標を理解し、海洋土木工学への興味と学習意欲が旺盛であり、海洋土木工学を学ぶ上で必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有する人
- ・地球的視点から多面的に物事を考えることができ、国土・海洋の開発と自然環境との持続的調和に高い関心を有する人
- ・本プログラムで獲得した専門知識を基礎に、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

海洋土木工学に関する専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【化学工学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

化学工学プログラムの教育理念は、「人間社会と自然環境と科学技術の調和と持続可能性を希求しつつ、国際的な視野から新しい科学技術・産業構造を提案し、地域並びに世界に発信できる高度専門職業人を育成する」ことです。この理念を受けて、「化学工学の専門家として、幅広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材の育成」を目的としています。そのため、「柔軟な思考力と探求心を備えた化学工学に係わる分野の中で、世界をリードする技術を追求できる専門的な能力と倫理的判断力を持った創造的で指導的な役割を担う専門的職業人を育成する」ことを目標とした教育研究を実施します。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・化学工学プログラムの教育目的を理解し、本プログラムにおける教育研究を通して高度の専門能力を修得しようとする十分な基礎学力を有する人
- ・柔軟な思考力、探求心を持って柔軟かつ創造的に解決する能力を身につけたい人
- ・化学工学の知識を生かしてグローバルな視点で活躍したい人
- ・新しい科学技術に対応できる高度な知識と倫理的判断力を養いたい人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

化学工学プログラムにおける教育研究を通して高度の専門能力を修得できる十分な基礎学力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、本プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、本プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる能力・適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、本プログラムの専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、専門科目及び口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、本プログラムの専門分野に関する知識・能力、外国語（日本語及び英語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【化学生命工学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

化学生命工学プログラムの教育理念は、「人間社会と自然環境と科学技術の調和を希求しつつ、国際的な視野から新しい科学技術・産業構造を提案し、地域並びに世界に発信できる高度専門職業人を育成する」ことです。この理念を受けて、「化学と生命工学の専門家として、幅広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材の育成」を目的として、そのため、「生命現象に関わる化学を学び、新物質や機能材料、バイオテクノロジー、分析や化学計測、医薬や医用材料、環境保全やエネルギーなどの研究や技術開発を担うことができる専門的職業人を育成する」ことを目標としています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・化学生命工学プログラムの教育目的を理解し、本プログラムにおける教育研究を通して高度の専門能力を修得しようとする十分な基礎学力を有する人
- ・柔軟な思考力、探求心を持って柔軟かつ創造的に解決する能力を身につけたい人
- ・化学と生命工学の知識を生かしてグローバルな視点で活躍したい人
- ・新しい科学技術に対応できる高度な知識と倫理的判断力を養いたい人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

化学生命工学プログラムにおける教育研究を通して高度の専門能力を修得できる十分な基礎学力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、当該志願者の専門分野の知識・技術、及び外国語（英語）の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等を踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び研究（希望）計画書、業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

【建築学プログラムにおける入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

〈教育目標〉

建築学プログラムでは、人類の建築文化と技術を継承し、地球環境の保全に配慮しながら、現代の科学技術と過去の経験を総合的に活用して、建築空間と生活環境の創造・維持を担う専門的職業人・研究者の養成を教育の理念としています。問題発掘能力とその解決能力、実験・解析の実行能力を身に付けることが可能な基礎学力を有し、それを専門領域や学際問題に活用でき、異分野の専門と協調して広く活躍できる、建築学分野で自立できる素養を持つ科学技術者・研究者の教育を目指しています。

〈入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）〉

1. 求める人材像

- ・真に価値ある人間性を呼び覚ますような環境を主体的に創造できる人
- ・人との対話や協調性、物事に対する行動力や主体性を備えた人
- ・アイデアを形成する構想力、問題発見能力とその解決能力を持つ人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

学士としての知識・能力、建築の専門的知識・技術及び外国語（英語）の能力が必要となります。ただし、他分野入学志願者特別選抜を志願する場合は、学士としての知識・能力、当該志願者の専門分野の知識・技術及び外国語の能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

一般選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

推薦特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

他分野入学志願者特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等を踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

社会人特別選抜では、口述試験を課すとともに、出身学校の成績及び研究（希望）計画書、業績（業務）報告書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、適性・意欲等を評価します。

外国人留学生特別選抜では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及びその他の出願書類等も踏まえ教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる知識・能力、外国語（英語及び日本語）の能力、適性・意欲等を評価します。

II. 一般選抜，推薦特別選抜，他分野入学志願者特別選抜及び 社会人特別選抜にかかる共通事項

1. 募集要項に関する問い合わせ先及び出願書類等提出先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話 (099)285-3057・8234 FAX (099)285-3410

E-mail: sedaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

2. 各専攻（プログラム）についての問い合わせ先

※ 志願者は、願書提出前に希望する研究指導教員と連絡を取り、教育研究の内容などについて十分相談してください。

・理学専攻

物理・宇宙プログラム	高桑 繁久	takakuwa@sci.kagoshima-u.ac.jp
化学プログラム	岡村 浩昭	okam@sci.kagoshima-u.ac.jp
生物学プログラム	宮本 句子	jmymt@sci.kagoshima-u.ac.jp
地球科学プログラム	山本 啓司	hyam@sci.kagoshima-u.ac.jp

・工学専攻

機械工学プログラム	駒崎 慎一	komazaki@mech.kagoshima-u.ac.jp
電気電子工学プログラム	福島 誠治	fukushima@eee.kagoshima-u.ac.jp
海洋土木工学プログラム	加古真一郎	kako@oce.kagoshima-u.ac.jp
化学工学プログラム	吉田 昌弘	myoshida@cen.kagoshima-u.ac.jp
化学生命工学プログラム	松本 健司	kmatsumoto@cb.kagoshima-u.ac.jp
建築学プログラム	柴田 晃宏	shibata@aae.kagoshima-u.ac.jp

・情報科学専攻

情報科学プログラム		
数理情報コース	伊藤 稔	itoh@sci.kagoshima-u.ac.jp
認知生体情報コース	大橋 勝文	mohashi@ibe.kagoshima-u.ac.jp
協創情報コース	大橋 勝文	mohashi@ibe.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学では「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人鹿児島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生や規制対象となる居住者の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理に関する Web サイトを参照してください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html>

3. 障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に当研究科と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デジベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

(1) 時 期

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、なるべく出願期間の数日前までに相談してください。

(2) 方 法

電話又は本学での相談いずれでもかまいませんが、次の事項等を記載した書類（様式任意）を提出していただく場合もあります。

- ① 志願する研究科の分野名、本人の氏名及び生年月日
- ② 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合がある。）
- ③ 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所、電話番号及び保護者の連絡先

4. 出願書類等に関する留意事項

- (1) 出願書類不備の場合は受理しません。記載事項に記入漏れ、誤記のないように十分注意してください。
- (2) 受理した出願書類等及び納入された検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ① TOEIC・TOEFL スコア（原本）※一般選抜及び他分野入学志願者特別選抜。
返却を希望した場合（27、40ページ参照）
 - ② 検定料
19ページ「5. 検定料の納入について」の（b）②のイ. 又はイ. の場合
- (3) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願後「連絡先住所」に変更があった場合には、速やかに連絡してください。

5. 検定料の納入について

(a) 払込方法

- ① 検定料は「鹿児島大学検定料払込方法」（120ページ）を参照の上、コンビニエンスストア（又はクレジットカード）で払い込んでください（払込みの際に別途事務手数料が必要です）。
- ② 払込み後、レジで受け取った（又は印刷した）「入学検定料・選考料・取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料収納証明書貼付台紙」（118ページ）の貼付欄に貼り付けて出願書類に添えて提出してください。

(b) 留意事項

- ① 検定料が払い込まれていない場合、「収納証明書」を貼り付けた「検定料収納証明書貼付台紙」が出願書類に添えて提出されていない場合は、出願書類は受理しません。

- ② 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
(返還額：30,000円から払込手数料を控除した額)
ア. 検定料を払込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。
イ. 誤って検定料を二重に払込んだ場合

6. 合格者発表

合格者の受験番号を下記の日時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。また、鹿児島大学理工学研究科ホームページ (<https://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。なお、電話等による合否の照会には応じません。

- 一般選抜：令和6年10月21日（月）10時
（第2次募集を実施した場合：令和7年3月4日（火）10時）
推薦特別選抜、他分野入学志願者特別選抜
：令和6年10月21日（月）10時
社会人特別選抜
第1次募集：令和6年10月21日（月）10時
第2次募集：令和7年3月4日（火）10時

7. 入学手続

- (1) 入学手続日
全選抜〔第1次募集・第2次募集〕：令和7年3月13日（木）～令和7年3月14日（金）
※ 入学手続時に必要な事項については、令和7年2月下旬頃合格者に別途通知します。
- (2) 受付時間
全選抜〔第1次募集・第2次募集〕：9時～17時
郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程入学手続書類在中」と朱書きし、入学手続期間最終日17時必着とします。
- (3) 提出書類
(ア) 入学料郵便振替払込受付証明書（お客さま用）
(イ) 宣誓書
(ウ) 在学保証書
(エ) 卒業証明書（令和7年4月1日（火）までに提出）
(オ) 成績証明書 他
- (4) 納付金等（令和5年度実績）
入学料 282,000円
授業料 267,900円（535,800円（年額））
※納付金等改定が行われた場合は、改定時から新料金が適用されます。
- (5) 既納の入学料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。
(返還額：282,000円から払込手数料を控除した額)
(ア) 入学料を払込んだが、入学手続をしなかった場合
(イ) 入学料を誤って二重に払込んだ場合

8. 入学料免除

次に該当する者は、本人の申請により免除の対象となることがあります。

- (1) 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者
(2) 次に掲げる事項のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者

(ア) 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくはその学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(イ) アに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

〔注〕入学手続後に入学を辞退する場合、入学料免除の申請は無効となり、入学料を納入していただくこととなります。

9. 入学料徴収猶予

次に該当する者は、徴収猶予の対象となることがあります。

- (1) 経済的理由によって入学料の納付期限までに納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、または入学する者若しくはその学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

〔注〕入学手続後に入学を辞退する場合、入学料徴収猶予の申請は無効となり、入学料を納入していただくこととなります。

10. 授業料免除

次に該当する者は、本人の申請により免除の対象となることがあります。

- (1) 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者
- (2) 授業料の各期ごとの納期前6月以内において、本学に入学する者の学資負担者が死亡し、又は本学に入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が著しく困難であると認められる者

11. 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者は、独立行政法人日本学生支援機構奨学金規定等により選考のうえ、奨学生に採用されることがあります。理工学研究科では、各専攻ごとに定められた基準による推薦順位も考慮し、独立行政法人日本学生支援機構に推薦します。

12. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

近年、大学院における社会人研究者、技術者等の再教育への要望が高まっていますが、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人研究者、技術者等はその勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人研究者、技術者等の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、理工学研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める特例による教育を実施しています。

13. 長期履修学生制度について

理工学研究科には、長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準年限を超えて一定の期間（3年または4年）にわたり、計画的に履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

希望者には入学手続の際に必要な書類を渡しますので、指導予定教員と相談のうえ理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係へお越しくください。

14. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願にあたっては知り得た氏名、住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については、本学入学者選抜・合格者発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導、授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためのみ利用し、他の目的には利用しません。

15. その他

- (1) 受験の際は、必ず受験票を持参してください。試験室、面接室及び面接者控室等の試験会場では、原則、携帯電話、スマートフォン、タブレット端末及びウェアラブル端末等の電子機器類の使用を禁止します。指示があった際は、電子機器類のアラームの設定を解除の上、電源を切ってかばん等にしまってください。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認められません。

入試情報開示

試験問題、配点及び正解・解答例（又は出題の意図）の開示

試験問題、配点及び正解・解答例は、原則、請求に基づき開示します。

なお、正解・解答例については、「例示」であり、複数の正解・解答例があり得ます。

また、正解・解答例に代えて、出題の意図を開示する場合があります。

(※大学院系の窓口では、過去3年分（令和4年度～令和6年度入試）を開示します。配点、正解・解答例（又は出題の意図）は閲覧のみできます。)

入試成績に関する個人情報の開示

令和7年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

1. 受験者本人からの請求に基づき、当該受験者の入学試験における個々の科目の得点または評価と総合得点並びに合否の別を開示します。
2. 入試成績の開示期間は合格者発表後2か月間です。(受付：平日の9時から16時)
3. 入試成績の開示は、書面で行います。
4. 請求方法は、次ページ様式「大学院入試情報開示請求書」と「鹿児島大学理工学研究科（博士前期課程）受験票」を添えて、下記に請求してください。
なお、郵送による場合は上記に、簡易書留郵便料に相当する切手を貼った返信用封筒を同封して、簡易書留郵便により請求してください。
5. 「大学院入試情報開示請求書」は当該入試合格者発表日以降に提出してください。

請求先 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

大学院入試情報開示請求書

令和 年 月 日

鹿児島大学大学院
理工学研究科長 殿

請求者 住所 _____
(郵送請求の場合記入してください。)

電話番号 _____
(郵送請求の場合記入してください。)

氏名 _____

選抜の方法 (該当選抜等に○を付し, 所要事項を記載し
てください)

- ・一般選抜(第1次募集・第2次募集)
- ・推薦特別選抜
- ・他分野入学志願者特別選抜
- ・社会人特別選抜(第1次募集・第2次募集)
- ・外国人留学生特別選抜(第1次募集・第2次募集)

専攻(プログラム) _____

受験番号 _____

私の入試成績について、情報の開示を請求します。

注意事項

1. 請求者は、本研究科の受験者本人に限ります。(代理人による請求は認めません。)
2. 個々の科目の得点または評価と総合得点並びに合否の別を開示します。
3. 開示期間は、合格者発表後2か月間とし、開示請求は平日の9時から16時までの間受け付けますので、受験票を添えて請求してください。
4. 郵送による請求の場合は、必ず住所及び電話番号を記入してください。連絡が取れないと開示できない場合があります。また、郵送の場合は、入試情報開示請求書、受験票及び簡易書留郵便料に相当する切手を貼った返信用封筒を同封した簡易書留郵便により理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係に請求してください。
5. 「大学院入試情報開示請求書」は当該入試合格者発表日以降に提出してください。

付録 「UCL 稲盛留学生制度」について

～英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) に
1年間留学し、学ぶことができる制度です～

鹿児島大学は、幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の精神・気風」を備えた人材を輩出する理念の基に、鹿児島大学21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度を設立しています。

この「UCL 稲盛留学生」制度は、鹿児島大学に在籍しながら単位取得のために UCL の授業を受講し、通常の UCL の正規学生と同じ扱いを受ける学生として各分野における卓越した学問を修得することを目的として1年間 UCL へ留学します。

本学が、この「UCL 稲盛留学生」に求めるものは、「大きな将来性」であり、本学ならびに我が国を代表する教育者や研究者になること、稲盛和夫鹿児島大学名誉博士のような我が国をリードする世界的企業人として活躍できる人物を目指すところにあります。

【事業概要】

年間1～2名をUCLへの留学候補者として選抜し、UCLからの入学許可を得た者（「UCL 稲盛留学生」）に鹿児島大学稲盛和夫基金を財源として経済的に支援します。

1. 対象者 本学大学院の修士課程、博士課程に在学する者又は入学を予定する者。

2. 支援予定人数 1～2名

3. 応募要件（抜粋）

(1) 学部在籍時のGPAが3.3/4以上の者。

(2) UCLへの申請時まで次の水準以上の英語能力を有する者

・IELTSの得点が6.5 (Academic Module) または、

・TOEFL iBT (internet-Based-Test) の得点が92点以上であること。

※ただし、UCLの希望するプログラムが求める英語能力水準を具体的点数で明示している場合は、希望プログラムが求める英語能力以上を有している者

4. 支援内容

ロンドンへの往復渡航費、ロンドンでの1年間の滞在費、UCLの授業料、その他留学のために必要と認められる経費

5. 募集時期 派遣前年の9月～11月頃を予定

6. 応募時期 派遣年の3月

7. 派遣時期 毎年9月頃

8. 単位互換

UCLで履修した授業科目について修得した単位は、各研究科の修了単位数に互換できる場合があります。単位互換については、所属する研究科へお問い合わせください。

9. 制度に関する問合せ先

鹿児島大学学生部国際事業課留学生係

TEL 099-285-3124 (平日 8:30～17:15)

E-mail: ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

Ⅲ. 一般選抜（学部3年次生を対象とする選抜を含む）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年（2025年）3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者（注1）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者（注1）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者（注1）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（注1）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）（注1）
- (9) 令和7年（2025年）3月末において大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績を持って修得した者であると本研究科において認められた者（注2）
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの（令和7年（2025年）4月1日時点で22歳に達する者を含む）
出願資格（10）は、次に該当する者とします。

科学・技術関係の分野の業務に従事し、学習歴及び実務経験を証明する書類により、本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものを。

（令和7年（2025年）4月1日時点で22歳に達する者を含みます）

（注1）出願資格（3）～（8）で出願する場合は、事前にお問い合わせください。

（18ページ、「1. 募集要項に関する問い合わせ先および出願書類等提出先」を参照）

（注2）出願資格（9）は学部3年次生を対象とする者で、これにより出願する場合は事前審査が必要です。詳細は32ページを参照してください。

2. 出願資格認定審査

出願資格が（10）により出願する者は、出願に先立って次の(a), (b), (c)の書類を申請期間内に本研究科に提出してください。出願資格の認定審査を受けなければなりません。

- (a) 本研究科所定の「入学試験出願資格認定審査調書」（別紙様式2）
- (b) 学習歴を証明する書類（卒業証明書・成績証明書等個人の経歴に応じたもの）
- (c) 実務経験等を証明する書類（職務・研修歴・研究歴等実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類）

○出願資格認定審査の申請期間

第1次募集

令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木） 各日9～17時

第2次募集を実施する場合

令和6年11月26日（火）～令和6年11月27日（水） 各日9～17時

※ 郵送の場合は、書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、申請期間最終日17時必着とします。

○出願資格認定審査の結果通知

下記日付で本人あてに通知します。

第1次募集 : 令和6年8月29日（木）

第2次募集を実施する場合 : 令和6年12月18日（水）

3. 募集人員

専攻名等		募集人員
理学専攻	物理・宇宙プログラム	25人
	化学プログラム	
	生物学プログラム	
	地球科学プログラム	
工学専攻	機械工学プログラム	80人
	電気電子工学プログラム	
	海洋土木工学プログラム	
	化学工学プログラム	
	化学生命工学プログラム	
	建築学プログラム	
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース	35人
	認知生体情報コース	
	協創情報コース	

4. 出願期間

○出願期間

第1次募集

1回目：令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木） 各日9～17時

2回目：令和6年9月2日（月）～令和6年9月3日（火） 各日9～17時

※出願資格認定審査の不要な者は、原則1回目の出願期間に出願すること。

第2次募集を実施する場合

令和7年1月7日（火）～令和7年1月9日（木） 各日9～17時

5. 出願書類等

(1) 出願書類は理工学研究科ホームページからダウンロードし、印刷する必要があります。

(2) 志願者は、下表の書類を一括して、出願期間に提出してください。(提出先：18ページ参照)

※ 郵送の場合は、書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、出願期間最終日17時必着とします。

出 願 書 類 等		出願資格別	注 意 事 項																	
1	入 学 志 願 票 受 験 真 歴 票 写 履 票 書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式1-1, 1-2)に必要事項を記入してください。出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真(縦4cm×横3cm)を所定欄に貼付してください。																	
2	卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書	出願資格(10)を除く	最終出身学校等が発行したもの。(出願資格(9)による事前審査出願者は不要)																	
		出願資格(10)該当者	最終出身学校等が発行した卒業(見込又は修了)証明書。 【資格審査時に提出】																	
3	学位授与を申請する旨の証明書	出願資格(2)該当者	短期大学学長又は高等専門学校長等が証明したもの(取得した者は学位記の(写))																	
4	成 績 証 明 書	出願資格(10)を除く	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし証明書自動発行機で発行されたものは厳封の必要はありません。 ※ 高等専門学校から、本学の学部へ編入学し卒業した(又は見込)の者は、「高専」「学部」両方の成績証明書を提出すること。 ※ 高等専門学校専攻科の修了(見込)者は、「本科」「専攻科」両方の成績証明書を提出すること。																	
		出願資格(10)該当者	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし証明書自動発行機で発行されたものは厳封の必要はありません。 【資格審査時に提出】																	
5	TOEIC スコア又は TOEFL スコア (令和4(2022)年4月1日以降受験したもの)	原則として 全志願者	受験する専攻毎にスコア提出の有無ならびに種類が違いますので、必ず、28ページ「一般選抜の TOEIC・TOEFL スコアの提出等について」を確認したうえで、提出してください。																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">スコアの種類</th> <th>提出書類の名称〔原則、原本〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">TOEIC 公開</td> <td>TOEIC L&R</td> <td>TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>TOEIC S&W</td> <td>TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEIC-IP</td> <td>TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEFL-iBT TOEFL-iBT Home Edition</td> <td>TOEFL Internet-based Test Taker Score Report Test Taker Score Report</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEFL-ITP</td> <td>TOEFL ITP Score Report</td> </tr> </tbody> </table>	スコアの種類		提出書類の名称〔原則、原本〕	TOEIC 公開	TOEIC L&R	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEIC S&W	TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEIC-IP		TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report	TOEFL-iBT TOEFL-iBT Home Edition		TOEFL Internet-based Test Taker Score Report Test Taker Score Report	TOEFL-ITP		TOEFL ITP Score Report
			スコアの種類		提出書類の名称〔原則、原本〕															
			TOEIC 公開	TOEIC L&R	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE															
				TOEIC S&W	TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE															
			TOEIC-IP		TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report															
TOEFL-iBT TOEFL-iBT Home Edition		TOEFL Internet-based Test Taker Score Report Test Taker Score Report																		
TOEFL-ITP		TOEFL ITP Score Report																		
※ スコアの種類により、スコアに有効期限があるものや、スコアを証明する書類の <u>再発行期間</u> が定められているものがあるため、各自で必ず事前に確認しておくこと。																				
6	志 望 理 由 書 又 是 研 究 計 画 書	原則として全志願者(電気電子工学プログラム及び数理情報コース志願者は必要ありません)	本研究科所定の用紙(別紙様式3)に、志望動機、大学院で学びたいこと、及び自己アピールを1000字以内にまとめたもの。ただし、理学専攻の志願者は、大学院での研究テーマまたは分野について、研究計画を1000字以内にまとめたもの。																	
7	住 民 票 (写) 又 是 パ ス ポ ー ト (写)	出願者のうち、日本国籍をもたない者のみ	市区町村長の交付する在留資格が記載された住民票の写し(日本国内在住の外国人の場合のみ)又はパスポートの写し(「受験」のために入国する場合)を提出してください。																	
8	検 定 料	全志願者	30,000円を「鹿児島大学検定料払込方法」(120ページ)を参照の上、出願期間初日の1週間前から出願までの間にコンビニエンスストア又はクレジットカードで払込み後、「収納証明書」を「検定料収納証明書貼付台紙」(118ページ)に貼り付けて出願書類に添えて提出すること。ただし、日本政府(文部科学省)国費外国人留学生の場合には不要です。																	
9	返 信 用 封 筒	全志願者	[受験票等送付用](1枚)(出願書類を持参するものは不要) 市販の封筒(長形3号, 12cm×23.5cm)に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し344円切手(※)を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。※郵便料金の改定があった場合は、改定後の郵便料金分の切手が必要です。																	

(注) 出願後、TOEIC・TOEFLスコア(原本)の返却を希望する者は、次の事項を記載した紙(A4判・様式任意)により、当該入試合格発表日以降に申し出ること。なお、郵送による返却を希望する者は、所要の切手を貼付した返信用封筒も同封すること。

- ・ 志願者氏名
 - ・ 志願するプログラム名
 - ・ 返却を希望する旨の文章(試験当日に追加で提出するスコア(原本)の返却も希望する場合は、その旨も記載すること)
- ※スコアの返却は、当該入試合格発表日以降に行う。

6. 一般選抜の TOEIC・TOEFL スコアの提出等について

専攻名等	出願時の スコア提出 (○=必要) (×=不要) ※1	提出可能なスコアの種類 (2022年4月1日以降に受験したスコアに限る)					出願時に左記のスコアを提出後、新たにスコア(原本)の提出を希望する場合の提出日時 ※4	
		(○=原則, いずれかの「原本」を提出可(複数の提出可) (×=出願書類として認めない)		TOEIC -IP ※3	TOEFL -iBT	TOEFL -ITP ※3		
		TOEIC L & R	TOEIC S & W					
理学専攻	物理・宇宙プログラム	○	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	化学プログラム	○	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	生物学プログラム	○	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	地球科学プログラム	○	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
工学専攻	機械工学プログラム	○	○	×	×	○	×	試験当日の面接時
	電気電子工学プログラム	○	○	×	×	○	×	試験当日の面接時
	海洋土木工学プログラム	○	○	○	○	○	×	試験当日の面接時
	化学工学プログラム	○	○	×	×	○	×	試験当日の面接時
	化学生命工学プログラム	○	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	建築学プログラム	○	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
情報科学専攻	情報科学プログラム							
	数理情報コース	×						
	認知生体情報コース	○	○	×	○	○	○	試験当日の面接時
	協創情報コース	○	○	×	○	○	○	試験当日の面接時

※1 化学生命工学プログラムにおいては、スコアは、選抜の際の基礎資料とします。

※2 TOEIC 公開テストのスコアを提出する場合は、デジタル公式認定証の QR コードが表示された PDF 版を印刷して提出することができます。

※3 TOEIC-IP テスト又は TOEFL-ITP のスコアを提出する場合は、本学の理学部内又は工学部内で受験した者に限り提出可。

※4 複数のスコアが提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

7. 入学者の選抜方法

専門科目、口頭試問を含む面接及び出願書類等により、十分な学力を有すると判断できる者を合格者としします。

なお、専攻が課す科目等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象者とはなりません。

また、第2次募集は原則として第1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。

8. 試験日時、試験場、試験科目等

(a) 試験の期日及び試験場

専攻名等	期日		試験場	
	第1次募集	第2次募集		
理学専攻	物理・宇宙プログラム	令和6年 10月5日(土)	令和7年 2月17日(月)	鹿児島大学理学部
	化学プログラム			
	生物学プログラム			
	地球科学プログラム			
工学専攻	機械工学プログラム			鹿児島大学工学部
	電気電子工学プログラム			
	海洋土木工学プログラム			
	化学工学プログラム			
	化学生命工学プログラム			
	建築学プログラム			
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース			鹿児島大学理学部
	認知生体情報コース			鹿児島大学工学部
	協創情報コース			

- * 1. 第2次募集は、原則として第1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。第2次募集の実施については、11月以降鹿児島大学工学研究科ホームページ (<https://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) で公表します。
- * 2. 学部3年次生を対象とする選抜の第2次募集は行いません。
- * 3. 日時、試験場等の詳細は、令和6年10月4日(金)14時(第2次募集を実施する場合、令和7年2月14日(金)14時)に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。
- * 4. 原則として、追試験は行いません。

(b) 試験科目及び試験時間

専攻名等		時刻									
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
理学専攻	物理・宇宙プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
	化学プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
	生物学プログラム	8:40 集合	口頭試問を含む面接 9:00～								
	地球科学プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
工学専攻	機械工学プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
	電気電子工学プログラム	8:40 集合	専門科目 9:00～10:30					口頭試問を含む面接 13:00～			
	海洋土木工学プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
	化学工学プログラム	8:40 集合	専門科目 9:00～11:00					口頭試問を含む面接 13:00～			
	化学生命工学プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
	建築学プログラム						12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
情報科学専攻	情報学プログラム	数理情報コース					12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
		認知生体情報コース					12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			
		協創情報コース					12:40 集合	口頭試問を含む面接 13:00～			

☆各試験科目等の試験開始後30分を超えて遅刻したときは、その科目等の受験を認めません。

【専門科目及び口頭試問を含む面接について】

物理・宇宙プログラム	口頭試問では力学、統計力学、熱力学、電磁気学、量子力学を含む物理の基礎的な内容の理解を問う口頭試験、卒業研究の内容及び博士前期課程で行う研究又は志望理由の質疑応答を行う。
化学プログラム	口頭試問では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についてパワーポイント等の資料に基づいて説明した後、内容についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
生物学プログラム	口頭試問では、生物学に関する専門分野の知識、卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究の内容について問う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。 生物学の専門分野に関する知識については、指示されたテーマについて面接用資料を作成する時間を設け、それを回収した後、口頭で質疑応答を行う。資料などの持ち込みは禁止する。
地球科学プログラム	口頭試問では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
機械工学プログラム	口頭試問では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
電気電子工学プログラム	専門科目では、応用数学、電気磁気学、電気回路学などの電気電子工学に関する専門分野の知識を問う。合わせて、博士前期課程で行う予定の研究計画などについても問う。口頭試問では、専門科目で解答した内容や志望理由などについて質問する。
海洋土木工学プログラム	口頭試問では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についてパワーポイント等の資料に基づいて説明した後、内容についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。 プレゼンテーションの詳細は、海洋土木工学プログラムのホームページ (https://www.oce.kagoshima-u.ac.jp/news/) を確認すること。
化学工学プログラム	専門科目では、移動現象論、化工熱力学、単位操作、反応工学、無機化学の5科目に関する筆記試験を行う。5科目の中から4科目を選択し、解答すること。関数電卓は試験時に貸与するものを使用すること。口頭試問では、専門科目で解答した内容や志望理由等について質問する。
化学生命工学プログラム	口頭試問では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究について説明した後、内容についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
建築学プログラム	口頭試問では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
数理情報コース	口頭試問では卒業研究で学んでいる内容及び博士前期課程で行いたい研究内容について質疑応答を行うと同時に、数学に関する基礎知識（微積分学、線形代数学）を問う。また、志望理由及び将来の進路についても問う。
認知生体情報コース及び協創情報コース	口頭試問を含む面接では、卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究とその基礎知識などについての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。

(c) 試験科目の配点

専攻名等		専門科目	口頭試問を含む面接	成績証明書	志望理由書等	TOEIC 又は TOEFL	総点	
理学専攻	物理・宇宙プログラム		100	280	[注1]	20	400	
	化学プログラム		100	80	*100	20	300	
	生物学プログラム		200	50	*50	100	400	
	地球科学プログラム		100	80	*100	20	300	
工学専攻	機械工学プログラム		100	300	[注2]	100	500	
	電気電子工学プログラム	100	75	100	[注3]	25	300	
	海洋土木工学プログラム		100	150	50	100	400	
	化学工学プログラム	200	200	150	50	100	700	
	化学生命工学プログラム		200	200	[注2]	[注2]	400	
	建築学プログラム		100	100	[注2]	100	300	
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース		300	100	[注3]	[注3]	400
		認知生体情報コース		300	100	[注2]	100	500
		協創情報コース		300	100	[注2]	100	500

[注1] 物理・宇宙プログラムの「志望理由書等」については、研究計画書とし、選抜の際の基礎資料とします。

[注2] 機械工学プログラム、建築学プログラム、認知生体情報コース及び協創情報コースの「志望理由書等」については、選抜の際の基礎資料とします。また、化学生命工学プログラムの「志望理由書等」及び「TOEIC 又は TOEFL」については、選抜の際の基礎資料とします。

[注3] 電気電子工学プログラムの「志望理由書等」並びに数理情報コースの「志望理由書等」及び「TOEIC 又は TOEFL」については、提出の必要はありません。

* 化学プログラム及び地球科学プログラムの「志望理由書等」配点100並びに生物学プログラムの「志望理由書等」配点50については、研究計画書の配点とします。

(d) 合否判定基準

- ・各評価項目において、十分な学力を有すると判断できる者を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。なお、試験科目等において得点が著しく低いものがある場合、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。
- ・総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

専攻名等	同点者の優先順位		
理学専攻	物理・宇宙プログラム	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL	
	化学プログラム	1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接 3.TOEIC 又は TOEFL 4.研究計画書	
	生物学プログラム	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL 4.研究計画書	
	地球科学プログラム	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL 4.研究計画書	
工学専攻	機械工学プログラム	1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接 3.TOEIC 又は TOEFL	
	電気電子工学プログラム	1.専門科目 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL 4.口頭試問を含む面接	
	海洋土木工学プログラム	1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接 3.TOEIC 又は TOEFL 4.志望理由書	
	化学工学プログラム	1.専門科目 2.口頭試問を含む面接 3.成績証明書 4.TOEIC 又は TOEFL 5.志望理由書	
	化学生命工学プログラム	1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接	
	建築学プログラム	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL	
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書
		認知生体情報コース	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL
		協創情報コース	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL

学部3年次生を対象とする選抜の事前審査等について（第1次募集のみ）

25ページ「1. 出願資格」の（9）により出願する者の事前審査等については、下記のとおりとします。

1. 事前審査を受けるための要件

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

- （1）令和7年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること（なお、休学した期間は、在学期間に算入しない。）
- （2）2年次末までに卒業に必要な総単位数の1/2以上を修得していること。
- （3）2年次末までに課せられている必修科目の単位を全て修得していること。
- （4）2年次末までに、卒業に必要な基礎教育科目の単位を全て修得していること。
- （5）所属学科の定員の上位5%以内の成績であること、又は修得した単位の3/4以上が「優」以上（点数評価においては80点以上）であること。ただし、その適用基準は当該プログラムに問い合わせること。
- （6）3年次末まで上記（5）の成績を維持できる見込みがあること。かつ、3年次末までに出身学科が定める卒業要件単位（4年次に課せられる必修科目は除く。）を修得する見込みがあること。
※ 他大学または他学部出身者に関しても（2）～（6）に準じる評価を行います。
※ 令和7年3月における履修状況の再評価により、（6）の条件を満たしていない場合は入学試験に合格していても入学できません。

2. 事前審査のために必要な書類

- （1）事前審査申請書（別紙様式4）
- （2）在籍する大学の成績証明書
- （3）推薦書（別紙様式5）
- （4）在籍する学部・学科等の履修要項等（卒業までに必要な全学共通教育科目、専門科目の単位及び開講時期が記載されているもの）

3. 事前審査書類の提出期間

令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木） 受付時間：9時～17時

郵送の場合も提出期間最終日17時必着とします。その場合書留郵便とし、「博士前期課程事前審査書類」と封筒の表に朱書きしてください。

4. 提出先 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

5. 事前審査の結果

令和6年8月29日（木）付けで本人宛通知します。

事前審査合格者の入学試験出願書類は、27ページの「5. 出願書類等」を参照してください。

6. 入学試験について

入学試験科目、日時及び場所は、29ページからの「8. 試験日時、試験場、試験科目等」を参照してください。

7. 合格者発表及び入学資格要件の審査について

入学試験の合格者は、令和6年10月21日（月）10時に発表します。

入学試験に合格した者に対して、令和7年3月に上記1の（6）に定める要件についての最終審査を行います。

審査の結果、その要件を満たすことができないことが確定した場合、入学できません。

8. 注意事項

- （1）本出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部を卒業していることが要件となっているものについては、その資格がなくなります。
- （2）本研究科博士前期課程入学後、1年以上在学し、必要な単位を修得した場合、「学位授与機構」に学士の学位授与を申請することができます。

IV. 推薦特別選抜

1. 趣 旨

本学理学部および工学部では、学部教育と大学院理工学研究科博士前期課程の教育の継続性を考慮し、学士・修士一貫教育（以下、一貫教育）を実践しています。この一貫教育を希望する学生は、理学部および工学部での学業成績と面接を基に3年次進級前に選抜され、進級後、指導教員の助言・指導を受けています。

大学院博士前期課程進学を希望する一貫教育課程の学生、及び一貫教育課程の学生以外の成績優秀で大学院で学修する意欲のある学生に対し、入学試験を実施します。

2. 推薦要件（対象者）

令和7年（2025年）3月に大学を卒業見込で、次の各号に該当する者。

- (1) ①本学理学部の理数教育プロジェクトコース学生
 - ②本学工学部の学士・修士一貫教育学生
 - ③ (1) ①及び②以外の者（この場合、本学理学部又は工学部の学生は除く）で成績優秀かつ志願者の所属する学部長又はそれに準ずる職位にある者が責任をもって推薦できる者。
- (2) 合格した場合は、入学することを確約できるもの。

※ 志願できるプログラムは、所属学部（学科）の教育内容に関連するものであることに注意してください。

3. 募集人員

専攻名等		募集人員
理学専攻	物理・宇宙プログラム	25人
	化学プログラム	
	生物学プログラム	
	地球科学プログラム	
工学専攻	機械工学プログラム	90人
	電気電子工学プログラム	
	海洋土木工学プログラム	
	化学工学プログラム	
	化学生命工学プログラム	
	建築学プログラム	
情報科学専攻	情報科学プログラム	35人
	数理情報コース	
	認知生体情報コース	
	協創情報コース	

(注) 「推薦特別選抜」の合格者数が募集人員に満たない場合には、その欠員は「一般選抜」の募集人員に含めます。

4. 出願期間

1回目：令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木）各日9～17時

2回目：令和6年9月2日（月）～令和6年9月3日（火）各日9～17時

※ 推薦特別選抜の志願者は、原則1回目の出願期間に出願すること。

※ 郵送の場合は、書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、出願期間最終日17時必着とします。

※ 本選抜と同一日に実施する選抜については、同時に出願することはできませんので、注意してください。

5. 出願書類等

- (1) 出願書類は理工学研究科ホームページからダウンロードし、印刷する必要があります。
 (2) 志願者は、下表の書類を一括して、出願期間に提出してください。(提出先：18ページ参照)

出願書類等		出願資格別	注 意 事 項
1	入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 履 歴 書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式1-1, 1-2)に必要事項を記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真(縦4cm×横3cm)を所定欄に貼付してください。
2	卒業見込証明書	全志願者	最終出身学校等が発行したもの。
3	成績証明書	全志願者	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし証明書自動発行機で発行されたものは厳封の必要はありません。 ※ 高等専門学校から、本学の学部へ編入学し卒業見込みの者は、「高専」「学部」両方の成績証明書を提出すること。 ※ 高等専門学校専攻科の修了見込みの者は、「本科」「専攻科」両方の成績証明書を提出すること。
4	推 薦 書	本学理学部又は工学部の学生以外の者	本研究科所定の用紙(別紙様式6)により、志願者の所属する学部長又はそれに準ずる職位にある者が作成し押印のうえ厳封したもの。
5	志 望 理 由 書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式7)により、志望動機、大学院で学びたいこと、及び自己アピールを1000字以内にまとめたもの。
6	住民票(写)又は パスポート(写)	日本国籍をもたない者のみ	市町村長の交付する在留資格が記載された住民票の写し(日本国内在住の外国人の場合のみ)又はパスポートの写し(「受験」のために入国する場合)を提出してください。
7	入 学 検 定 料	全志願者	30,000円を「鹿児島大学検定料払込方法」(120ページ)を参照の上、出願期間初日の1週間前から出願までの間にコンビニエンスストア又はクレジットカードで払込み後、「収納証明書」を「検定料収納証明書貼付台紙」(118ページ)に貼り付けて出願書類に添えて提出すること。
8	返 信 用 封 筒	全志願者	[受験票等送付用](1枚)(出願書類を持参する者は不要) 市販の封筒(長形3号12cm×23.5cm)に出願者の住所・氏名・郵便番号を記入し344円切手(※)を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。※郵便料金の改定があった場合は、改定後の郵便料金分の切手が必要です。

6. 入学者の選抜方法

選考は、口頭試問を含む面接及び出願書類によって行います。

7. 試験日時及び試験場等

(a) 口頭試問を含む面接試験の日時及び試験場

専攻名等		試験日	受験者集合時刻	試験開始時刻	試験場
理学専攻	物理・宇宙プログラム	令和6年 10月5日(土)	8:40	9:00	鹿児島大学理学部
	化学プログラム				
	生物学プログラム				
	地球科学プログラム				
工学専攻	機械工学プログラム				鹿児島大学工学部
	電気電子工学プログラム				
	海洋土木工学プログラム				
	化学工学プログラム				
	化学生命工学プログラム				
	建築学プログラム				
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース				鹿児島大学理学部
	認知生体情報コース				
	協創情報コース				

- * 1. 試験開始後30分を超えて遅刻したときは、受験を認めません。
- * 2. 口頭試問を含め、1人10~15分程度の個人面接を行います。
- * 3. 面接では、志望専攻(プログラム)の専門分野に関わる基礎問題と志望理由書等について質問します。ただし、海洋土木工学プログラムの口頭試問を含む面接では、一般面接に加えて、卒業研究及び進学後の研究計画に関するプレゼンテーションに対して試問します。なお、プレゼンテーションは5分以内、PowerPointで作成したスライドを持参してください。プレゼンテーションの詳細は、出願後に海洋土木工学プログラムのホームページでお知らせします。
- * 4. 日時、試験場等の詳細は、令和6年10月4日(金)14時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。
- * 5. 原則として、追試験は行いません。

(b) 試験科目の配点

専攻名等		口頭試問を含む面接	成績証明書	志望理由書	総点
理学専攻	物理・宇宙プログラム	200	100	100	400
	化学プログラム	200	100	100	400
	生物学プログラム	200	100	100	400
	地球科学プログラム	200	100	100	400
工学専攻	機械工学プログラム	100	200	[注1]	300
	電気電子工学プログラム	100	300	[注1]	400
	海洋土木工学プログラム	200	150	50	400
	化学工学プログラム	200	150	[注1]	350
	化学生命工学プログラム	200	200	[注1]	400
	建築学プログラム	100	200	[注1]	300
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース	200	100	100	400
	認知生体情報コース	250	150	[注1]	400
	協創情報コース	250	150	[注1]	400

[注1] 機械工学プログラム、電気電子工学プログラム、化学工学プログラム、化学生命工学プログラム、建築学プログラム、認知生体情報コース及び協創情報コースの「志望理由書」については、選抜の際の基礎資料とします。

(c) 合否判定基準

- ・各評価項目において、十分な学力を有すると判断できる者を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。なお、試験科目において得点が著しく低いものがある場合、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。
- ・総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

専攻名等		同点者の優先順位	
理学専攻	物理・宇宙プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書 3. 志望理由書	
	化学プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書 3. 志望理由書	
	生物学プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書 3. 志望理由書	
	地球科学プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書 3. 志望理由書	
工学専攻	機械工学プログラム	1. 成績証明書 2. 口頭試問を含む面接	
	電気電子工学プログラム	1. 成績証明書 2. 口頭試問を含む面接	
	海洋土木工学プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書 3. 志望理由書	
	化学工学プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書	
	化学生命工学プログラム	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書	
	建築学プログラム	1. 成績証明書 2. 口頭試問を含む面接	
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書 3. 志望理由書
		認知生体情報コース	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書
		協創情報コース	1. 口頭試問を含む面接 2. 成績証明書

(d) 第2次募集

- ・実施しません。

V. 他分野入学志願者特別選抜

1. 趣 旨

各専攻（各プログラム）の専門分野の課題を学際的な立場で研究し、各専攻（各プログラム）の専門分野の常識にとらわれないイノベーションの創出に貢献できる人材を育成することを目的とし、各専攻（各プログラム）の専門分野とは異なる専門知識を持つ人材を広く求めるため、各専攻（各プログラム）が関連する学部学科の卒業生を対象とした入学試験とは異なる入学試験を行います。

[理学専攻]

〈物理・宇宙プログラム〉

物理・宇宙プログラムでは、従来の物理学・天文学の枠組みにとらわれず、他分野での経験を生かして物理学・天文学、あるいはその学際領域の学問を行うことのできる、十分な基礎学力と明確な方針をもつ人材を求めます。

〈化学プログラム〉

化学プログラムでは、分析化学、生化学、有機化学、物理化学等を含む幅広い化学領域を学びます。研究対象が生物学や物理学等、他プログラムの分野に及ぶこともあるため、学部で化学以外の学問領域を履修した者でも、博士前期課程での研究が可能です。成績が優秀で、かつ本プログラムのアドミッションポリシーに合致した人材を求めます。

〈生物学プログラム〉

生物学プログラムでは、生物に関する専門分野の知識・技術および英語の能力を評価します。生物学研究では、どのような研究課題においても、学部レベルの分子生物学の基礎学力を備えていること、周囲とコミュニケーションして実験・調査を実践していく学習意欲をもつことが必須となります。この前提を満たしており、他分野での知識を活かして生物学およびその学際領域の学問を行う基礎学力と目標を備えた人材を求めます。

〈地球科学プログラム〉

地球科学プログラムでは、地球について高度な専門的知識を持ち、倫理的判断力を備えた創造的で指導的な役割を担う専門的職業人の育成を目指しています。本プログラムの教育目標を理解し、教育研究を通して、学問を修得しようとする明確な意志と方針を持っている人材を求めます。

[工学専攻]

〈機械工学プログラム〉

機械工学プログラムでは、広く学際的な立場から機械工学の研究を行い、これまでの機械工学の常識にとらわれないイノベーションを提案できる機械工学技術者の育成を目的とし、広く専門外からも人材を求めます。

〈電気電子工学プログラム〉

電気電子工学プログラムでは、電気電子工学分野を含む幅広い専門能力を駆使して、柔軟かつ迅速に課題を解決できる創造的能力を持ち、地域並びに国際社会への貢献に対する使命感を持つ人材を育成することを目的とし、広く専門外からも人材を求めます。

〈海洋土木工学プログラム〉

海洋土木工学プログラムでは、自然災害の防止、自然環境の保全、社会基盤施設整備およびこれらに関する新技術の開発など、持続可能な国土づくりに貢献する意欲のある学生を受け入れて教育・研究を行うことを目的とし、従来の土木工学や海洋学の枠組みにとらわれることなく多方面から人材を求めます。

〈化学工学プログラム〉

化学工学プログラムでは、化学工学および無機材料化学を主体とする教育・研究を行っていますが、対象が学際領域に及ぶことが多くあります。このため、学部教育を上記以外の分野において履修した者でも、成績が優秀で、かつ本プログラムにおいて学問を行う明確な方針を持っている人材を求めます。

〈化学生命工学プログラム〉

化学生命工学プログラムでは、生命現象に関わる化学を学び、新物質や機能材料、バイオテクノロジー、分析や化学計測、医薬や医用材料、環境保全やエネルギーなどの研究や技術開発を担うことができる専門的職業人を育成することを目指しています。広く専門外からも人材を求めます。

〈建築学プログラム〉

建築学プログラムでは、建築学を主体とする教育・研究を行っていますが、学問の領域は広く学際的な研究にも積極的に取り組んでいます。このため学部教育を建築系以外の分野において履修した者でも、成績が優秀でかつ建築学プログラムにおいて学問を行う明確な方針を持っていれば、十分な成果をあげることができます。そこで広く専門外からも人材を求めます。

〔情報科学専攻〕

〈情報科学プログラム（数理情報コース）〉

数理情報コースでは、数学や情報科学についての教育・研究を行っていますが、これらの深く豊かな内容は自然科学・社会科学・工学等の諸領域で大いに活用されています。そこで学部教育を数学・情報科学以外の分野において履修した者からも広く人材を求めます。

〈情報科学プログラム（認知生体情報コース）〉

認知生体情報コースでは、認知情報処理等の生体系情報科学および生体工学に基礎をおいた研究を行っており、学際的な情報科学の分野で創造力を持って問題に対応できる専門的知識と倫理的判断力を持った高度専門職業人を養成することを目的とし、広く専門外からの人材を求めます。

〈情報科学プログラム（協創情報コース）〉

協創情報コースでは、知能情報処理等の工学系情報科学および情報工学に基礎をおいた研究を行ってお

り、学際的な情報科学の分野で創造力を持って問題に対応できる専門的知識と倫理的判断力を持った高度専門職業人を養成することを目的とし、広く専門外からの人材を求めます。

2. 募集人員

専攻名等		募集人員
理学専攻	物理・宇宙プログラム	4人
	化学プログラム	
	生物学プログラム	
	地球科学プログラム	
工学専攻	機械工学プログラム	8人
	電気電子工学プログラム	
	海洋土木工学プログラム	
	化学工学プログラム	
	化学生命工学プログラム	
	建築学プログラム	
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース	4人
	認知生体情報コース	
	協創情報コース	

(注)「他分野入学志願者特別選抜」の合格者数が募集人員に満たない場合には、その欠員は「一般選抜」の募集人員に含めます。

3. 出願資格

出願資格の事前審査で出願資格が認められた者 (45～50ページ参照)

4. 出願期間

○出願期間：令和6年9月2日（月）～令和6年9月3日（火）各日9～17時

※ 郵送の場合は、書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、出願期間最終日17時必着とします。

5. 出願書類等

- (1) 出願書類は理工学研究科ホームページからダウンロードし、印刷する必要があります。
- (2) 志願者は、下表の書類を一括して、出願期間に提出してください。(提出先：18ページ参照)

出願書類等		出願資格別	注意事項									
1	入学志願票 受験真歴票 写真票書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式1-1, 1-2)に必要な事項を記入してください。出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向き の写(縦4cm×横3cm)を所定欄に貼付してください。									
2	学位授与を申請する旨の証明書	短期大学及び高等専門学校出身者	短期大学学長または高等専門学校長等が証明したもの(取得した者は学位記の(写))									
3	TOEICスコア又はTOEFLスコア(令和4(2022)年4月1日以降受験したもの)	化学生命工学プログラム及び数理情報コース志願者は必要ありません	<p>受験するプログラム毎にスコア提出の有無等が違いますので、必ず、「他分野入学志願者特別選抜のTOEIC・TOEFLスコアの提出等について」(41ページ参照)を確認したうえで、提出してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">スコアの種類</th> <th>提出書類の名称〔原則、原本〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC 公開</td> <td>TOEIC L&R TOEIC S&W</td> <td>TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>TOEFL iBT</td> <td>TOEFL iBT Home Edition</td> <td>TOEFL Internet-based Test Taker Score Report Test Taker Score Report</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ スコアの種類により、スコアに有効期限があるものや、スコアを証明する書類の再発行期間が定められているものがあるため、各自で必ず事前に確認しておくこと。</p>	スコアの種類		提出書類の名称〔原則、原本〕	TOEIC 公開	TOEIC L&R TOEIC S&W	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEFL iBT	TOEFL iBT Home Edition	TOEFL Internet-based Test Taker Score Report Test Taker Score Report
スコアの種類		提出書類の名称〔原則、原本〕										
TOEIC 公開	TOEIC L&R TOEIC S&W	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE										
TOEFL iBT	TOEFL iBT Home Edition	TOEFL Internet-based Test Taker Score Report Test Taker Score Report										
4	住民票(写)又はパスポート(写)	日本国籍をもたない者のみ	市区町村長の交付する在留資格が記載された住民票の写し(日本国内在住の外国人の場合のみ)又はパスポートの写し(「受験」のために入国する場合)を提出してください。									
5	検定料	全志願者	30,000円を「鹿児島大学検定料払込方法」(120ページ)を参照の上、出願期間初日の1週間前から出願までの間にコンビニエンスストア又はクレジットカードで払込み後、「収納証明書」を「検定料収納証明書貼付台紙」(118ページ)に貼り付けて出願書類に添えて提出すること。ただし、日本政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。									
6	返信用封筒	全志願者	[受験票等送付用](1枚)(出願書類を持参するものは不要)市販の封筒(長形3号, 12cm×23.5cm)に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し344円切手(※)を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。※郵便料金の改定があった場合は、改定後の郵便料金分の切手が必要です。									

- (注) 出願後、TOEIC・TOEFLスコア(原本)の返却を希望する者は、次の事項を記載した紙(A4判・様式任意)により、当該入試合格発表日以降に申し出ること。なお、郵送による返却を希望する者は、所要の切手を貼付した返信用封筒も同封すること。
- ・志願者氏名
 - ・志願するプログラム名
 - ・返却を希望する旨の文章(試験当日に追加で提出するスコア(原本)の返却も希望する場合は、その旨も記載すること)
- ※スコアの返却は、当該入試合格発表日以降に行う。

6. 他分野入学志願者特別選抜の TOEIC・TOEFL スコアの提出等について

専攻名等	出願時の スコア提出 (○=必要) (×=不要)	提出可能なスコアの種類 (2022年4月1日以降に受験したスコ アに限る)			出願時に左記の スコアを提出後、 新たにスコア(原 本)の提出を希望 する場合の提出日 時 ※2		
		TOEIC 公開 ※1		TOEFL - iBT			
		TOEIC L & R	TOEIC S & W				
理学専攻	物理・宇宙プログラム	○	○	×	○	試験当日の 面接時	
	化学プログラム	○	○	○	○	試験当日の 面接時	
	生物学プログラム	○	○	○	○	試験当日の 面接時	
	地球科学プログラム	○	○	×	○	試験当日の 面接時	
工学専攻	機械工学プログラム	○	○	×	○	試験当日の 面接時	
	電気電子工学プログラム	○	○	×	○	試験当日の 面接時	
	海洋土木工学プログラム	○	○	○	○	試験当日の 面接時	
	化学工学プログラム	○	○	×	○	試験当日の 面接時	
	化学生命工学プログラム	×					
	建築学プログラム	○	○	×	○	試験当日の 面接時	
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース	×				
		認知生体情報コース	○	○	×	○	試験当日の 面接時
		協創情報コース	○	○	×	○	試験当日の 面接時

※1 TOEIC 公開テストのスコアを提出する場合は、デジタル公式認定証の QR コードが表示された PDF 版を印刷して提出することができます。

※2 複数のスコアが提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

7. 入学者の選抜方法

[理学専攻]

〈物理・宇宙プログラム〉

「面接（希望する研究内容に関するプレゼンテーションと口頭試問）」、「成績証明書」、「志望理由書」、
「TOEIC 又は TOEFL」により判定します。

〈化学プログラム〉

口頭試問を含むプレゼンテーションを課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる能力・適性・意欲等を評価します。また英語の能力についても評価します。

〈生物学プログラム〉

口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる能力・適性・意欲等を評価します。また、英語の能力についても評価します。

〈地球科学プログラム〉

口頭試問を含む面接及び出身学校の成績等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる能力・適性・意欲等を評価します。

〔工学専攻〕

〈機械工学プログラム〉

面接（希望する研究分野のプレゼンテーションと口頭試問）を行い、出願書類と面接の結果により、総合的に合否を判定します。

〈電気電子工学プログラム〉

面接及び出願書類による選抜を実施します。

- (1) 面接では、①大学院において計画している研究に関するプレゼンテーション、②応用数学を中心とする基礎学力を測る口頭試問、③志望動機や学習意欲等を見る面接を実施します。
- (2) 各評価項目において、十分な学力を有すると判断できるものを総合得点により順位付けし、合格者を決定します。

〈海洋土木工学プログラム〉

選抜は、「プレゼンテーションを含む面接」、「成績証明書」、「志望理由書」、「TOEIC 又は TOEFL」により行います。このうち、「プレゼンテーションを含む面接」では、①一般面接、②卒論研究および進学後の研究計画に関するプレゼンテーションを実施します。これらの各評価項目について、十分な学力を有すると判断できるものを総合点により順位付けし、合格者を決定します。

〈化学工学プログラム〉

「口述試験」による選抜を実施します。

- (1) 卒業研究または大学院で希望する研究についてプレゼンテーションと口頭試問を行います。
- (2) 英語については TOEIC 又は TOEFL を利用します。
- (3) 各評価項目において十分な学力を有すると判断できるものを総合得点により順位付けし合格者を決定します。

〈化学生命工学プログラム〉

- (1) 口述試験による選抜を実施します。なお、当該受験者の専門分野に関する基礎知識、本プログラムに入学した場合の研究計画などについて試問を行います。
- (2) 各評価項目において、十分な学力を有すると判断できるものを総合得点により順位付けし、合格者を決定します。

〈建築学プログラム〉

- (1) 試験科目は、「面接試験・プレゼンテーション」、「成績証明書」、「その他の書類」とします。
- (2) 「面接試験・プレゼンテーション」、「成績証明書」、「その他の書類」の評価は以下により実施します。
 - ①「面接試験・プレゼンテーション」では、志願者に対し面接を行い、志望動機、大学院で学びたいこと、大学院修了後の進路などを確認した上で、志願者が大学院で希望する研究についてプレゼンテーションを行い、プレゼンテーション能力、論理的思考力、理解力、および本プログラムの教育・研究内容と研究計画との整合性（プログラム選択の妥当性）などに関して総合的に評価します。
 - ②「成績証明書」では、提出された「成績証明書」と「英語」の成績を総合して評価します。

「成績証明書」については、4年次進級時点の累積 GPA によって得点を決定します。志願者の「成績証明書」が GPA 表記でない場合には、プログラムで定める方法で GPA に換算した得点を用います。
「英語」については、TOEIC 又は TOEFL を利用します。
 - ③「その他の書類」については、「志望理由書」に記載されている志望動機、大学院で学びたいこと、自己アピール等から読み取れる志願者の学習意欲、問題意識、論理的思考力、文章力を総合して採点します。
 - ④各評価項目において、十分な学力を有すると判断できるものを総合得点により順位付けし、合格者を決定します。

【情報科学専攻】

〈情報科学プログラム（数理情報コース）〉

面接（当該受験者の専門分野に関する基礎知識、本専攻に入学した場合の研究計画についての試問）を行い、出願書類と面接の結果により、総合的に合否を決定します。

〈情報科学プログラム（認知生体情報コース）〉

- (1) 口頭試問を含む面接、成績証明書、TOEIC 又は TOEFL により合否を判断します。なお、口述試験では、志願者の研究意欲、コミュニケーション能力、専攻への適性等を総合的に判断します。
- (2) 各評価項目において、十分な学力を有すると判断できるものを総合点により順位付けし、合格者を決定します。

〈情報科学プログラム（協創情報コース）〉

- (1) 口頭試問を含む面接、成績証明書、TOEIC 又は TOEFL により合否を判断します。なお、口述試験では、志願者の研究意欲、コミュニケーション能力、専攻への適性等を総合的に判断します。
- (2) 各評価項目において、十分な学力を有すると判断できるものを総合点により順位付けし、合格者を決定します。

8. 試験科目・日時及び試験場等

(a) 口頭試問を含む面接試験の日時及び試験場

専攻名等		試験日	受験者集合時刻	試験開始時刻	試験場	
理学専攻	物理・宇宙プログラム	令和6年 10月5日(土)	8:40	9:00	鹿児島大学理学部	
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
工学専攻	機械工学プログラム				鹿児島大学工学部	
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム					
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	建築学プログラム					
情報科学専攻	情報科学プログラム				数理情報コース	鹿児島大学理学部
					認知生体情報コース	鹿児島大学工学部
		協創情報コース				

※1 物理・宇宙プログラム、化学プログラム、生物学プログラム、地球科学プログラム、機械工学プログラム、電気電子工学プログラム、海洋土木工学プログラム、化学工学プログラム、建築学プログラム並びに情報科学プログラムの認知生体情報コース及び協創情報コースにおいては、出願時等に、TOEICスコア又はTOEFLスコアを提出する必要があります。

なお、出願後、新たなTOEICスコア又はTOEFLスコアを試験当日の定められた時間帯に提出することが出来ます。詳細については、41ページに記載してあるので、必ず確認してください。

※2 試験開始後30分を超えて遅刻したときは、受験を認めません。

※3 口頭試問を含め、1人20分程度の個人面接を行います。

※4 面接では、志望専攻の専門分野に関わる基礎問題と志望理由書等について、質問します。

※5 日時、試験場等の詳細は、令和6年10月4日(金)14時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。

※6 原則として、追試験は行いません。

(b) 試験問題の配点

専攻名等		面接等	成績証明書	志望理由書等	TOEIC又はTOEFL	総点	
理学専攻	物理・宇宙プログラム	200	100	100	100	500	
	化学プログラム	100	100	〔注1〕	100	300	
	生物学プログラム	100	100	〔注1〕	100	300	
	地球科学プログラム	100	100	〔注1〕	100	300	
工学専攻	機械工学プログラム	100	300	〔注2〕	100	500	
	電気電子工学プログラム	200	100	50	50	400	
	海洋土木工学プログラム	150	100	50	50	350	
	化学工学プログラム	200	150	100	50	500	
	化学生命工学プログラム	200	200	〔注2〕	〔注3〕	400	
	建築学プログラム	300	50	100	50	500	
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース	200	100	100	〔注3〕	400
		認知生体情報コース	300	100	〔注2〕	100	500
		協創情報コース	300	100	〔注2〕	100	500

〔注1〕化学プログラム、生物学プログラム及び地球科学プログラムの「志望理由書等」については、A、B、Cで判定します。

〔注2〕機械工学プログラム、化学生命工学プログラム、認知生体情報コース及び協創情報コースの「志望理由書等」については、選抜の際の基礎資料とします。

〔注3〕化学生命工学プログラム及び数理情報コースの「TOEIC又はTOEFL」については、提出の必要はありません。

(c) 合否判定基準

- ・各評価項目において、十分な学力を有すると判断できる者を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- ・総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

専攻名等		同点者の優先順位			
理学専攻	物理・宇宙プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. 志望理由書	4. TOEIC 又は TOEFL
	化学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL	4. 志望理由書
	生物学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL	4. 志望理由書
	地球科学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL	4. 志望理由書
工学専攻	機械工学プログラム	1. 成績証明書	2. 面接等	3. TOEIC 又は TOEFL	
	電気電子工学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. 志望理由書	4. TOEIC 又は TOEFL
	海洋土木工学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL	4. 志望理由書
	化学工学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL	4. 志望理由書
	化学生命工学プログラム	1. 成績証明書	2. 面接等		
	建築学プログラム	1. 面接等	2. 成績証明書	3. 志望理由書	4. TOEIC 又は TOEFL
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース	1. 面接等	2. 成績証明書	3. 志望理由書
		認知生体情報コース	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL
		協創情報コース	1. 面接等	2. 成績証明書	3. TOEIC 又は TOEFL

(d) 第2次募集

- ・実施しません。

9. 出願資格事前審査

本選抜に出願する者は、出願前に、出願資格事前審査書類を理工学研究科ホームページからダウンロードし、申請期間内に本研究科へ提出して出願資格の審査を受けなければなりません。

なお、詳細は、次のとおりです。

【共通事項】

・出願資格事前審査書類の提出期間

令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木）17時まで

なお、郵送の場合も、提出期間最終日17時必着とします。その場合、書留郵便とし、「他分野入学志願者特別選抜事前審査書類在中」と朱書きしてください。

・提出先

鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

・事前審査の結果

令和6年8月29日（木）付けで本人宛て速達郵便で通知します。

事前審査合格者の入学試験出願書類は、40ページを参照してください。

・入学試験について

入学試験科目、日時及び場所は、44ページを参照してください。

・合格者発表

令和6年10月21日（月）10時

・事前相談

志願者は、事前審査を受ける前に希望する研究指導教員と必ず連絡を取り、教育研究の内容などについて充分相談してください。

・その他

※ 本選抜と同一日に実施する選抜については、同時に出願することはできませんので、注意してください。

【プログラム別の事前審査を受けるための要件】

〔理学専攻〕

〈物理・宇宙プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格（(1)～(8)）に加えて、次の①～③のいずれかに該当し、かつ④及び⑤の要件を満たす者

- ①大学在学中の累積 GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ②累積 GPA を採用していない、あるいは学業成績証明書に累積 GPA が記載されていない大学の場合、所属学科内の成績順位が上位1/4以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学若しくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が1/4以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ④物理学や天文学とは異なる分野を卒業見込み、または卒業した者
- ⑤合格した場合、入学を確約できる者

〈化学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

- ・一般選抜の出願資格（1）～（8）を満たす者
- ・化学系とは異なる分野を卒業または卒業見込みの者
- ・次の①～③のいずれかの条件を満たす者

- ①大学在籍中の GPA が2.5以上の者、令和7年3月卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ② GPA を算出できない大学の場合は、所属学科内での成績順位が上位1/4以内であることを、所属機関が発行する書類によって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/4以内であることを、所属機関が発行する書類によって証明できる者

- ・合格した場合、入学を確約できる者

〈生物学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

- ・一般選抜の出願資格 (1) ～ (8) を満たす者
- ・生物系とは異なる分野を卒業または卒業見込みの者
- ・次の①～③のいずれかの条件を満たす者
 - ①大学在学中の GPA が2.5以上の者、令和7年3月卒業見込みの者は1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
 - ② GPA を算出できない大学の場合は、所属学科内での成績順位が上位1/4以内であることを、所属機関が発行する書類によって証明できる者
 - ③専攻科修了見込みの者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/4であることを、所属機関が発行する書類によって証明できる者
- ・合格した場合、入学を確約できる者

〈地球科学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

- ・一般選抜の出願資格 (1) ～ (8) を満たす者
- ・地球科学系とは異なる分野を卒業または卒業見込みの者
- ・次の①～③のいずれかの条件を満たす者
 - ①大学在学中の GPA が2.5以上の者、令和7年3月卒業見込みの者は1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
 - ② GPA を算出できない大学の場合は、所属学科内での成績順位が上位1/4以内であることを所属機関が発行する書類によって証明できる者
 - ③専攻科修了見込みの者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/4以内であることを所属機関が発行する書類によって証明できる者
- ・合格した場合、入学を確約できる者

〔工学専攻〕

〈機械工学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格 ((1)～(8)) に加えて、機械工学系とは異なる専門分野を卒業見込みまたは卒業した者で、次の①～③の条件のいずれかに該当する学業成績・人物とも優れた者のうち、④の要件を満たす者

- ①大学在学中の累積 GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ② GPA を採用していない、あるいは学業成績証明書に累積 GPA が記載されていない大学の場合、所属学科内の成績順位が上位1/4以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/4以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ④合格した場合、入学を確約できる者

〈電気電子工学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格（(1)～(8)）に加えて、電気電子工学以外の専門分野を卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合、入学を確約でき、次の①から③のいずれかの要件を満たす者。

- ①大学在学中の GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ② GPA を採用していない、あるいは学業成績証明書に累積 GPA が記載されていない大学の場合、所属学科内の成績順位が上位1/3以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学若しくは高等専門学校での所属学科内の成績順位が上位1/3以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者

〈海洋土木工学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格（(1)～(8)）を有する土木工学系の学科以外の出身者で、地球環境、国土保全、自然災害等に関連する話題や安心・安全で豊かな社会の創造に強い関心がある者。なお、数学、物理、または、化学に関する基礎的な知識・学力を有していることが望ましい。

〈化学工学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格（(1)～(8)）に加えて、次の①及び②の要件を満たす者。

- ①「化学工学と無機材料化学」を主体とする学部教育を受けていない者
- ②合格した場合、入学を確約できる者

なお、学部4年生については、3年次までに4年次における必修単位を除いた卒業要件科目をすべて修得していること。

〈化学生命工学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格(1)～(8)に加えて、次の①～③の要件のいずれかを満たし、かつ、④及び⑤の要件を満たす者

- ①大学在学中の累積 GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ②累積 GPA を算出できない（証明できない）場合には、所属学科内での成績順位が上位1/3以内であることを所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学若しくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/10以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ④応用化学と生命工学を主体とする学部教育を受けていない者
- ⑤合格した場合、入学を確約できる者

〈建築学プログラム〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

建築学および関連する分野（土木系、住居系など）以外の出身で、一般選抜の出願資格(1)～(8)に加え

て次の①～③のいずれかに該当する学業成績・人物とも優れた者のうち、④の要件を満たす者

- ①大学在学中の累積 GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ② GPA を採用していない、あるいは学業成績証明書に累積 GPA が記載されていない大学の場合、所属学科内での成績が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において修得単位の1/2以上が上位の評語（点数評価にして80点相当以上）で評価されている者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内での成績が上位1/3以内の者、成績順位が算出できない場合には、専門科目の成績において修得単位の1/2以上が上位の評語（点数評価にして80点相当以上）で評価されている者
- ④合格した場合、入学を確約できる者

〔情報科学専攻〕

〈情報科学プログラム（数理情報コース）〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格（(1)～(8)）を有する数学・情報科学系の学科以外の出身者で、数学や情報科学に強い関心がある者。

〈情報科学プログラム（認知生体情報コース）〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格(1)～(8)に加えて、次の①～③の要件のいずれかを満たすと共に、④の要件を満たす者

- ①大学在学中の GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ② GPA を採用していない、あるいは学業成績証明書に累積 GPA が記載されていない大学の場合、所属学科内での成績順位が上位1/3以内であることを所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学若しくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/10以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ④情報科学又は生体情報工学を主体とする学部教育を受けていない者

〈情報科学プログラム（協創情報コース）〉

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしていることが必要です。

一般選抜の出願資格(1)～(8)に加えて、次の①～③の要件のいずれかを満たすと共に、④の要件を満たす者

- ①大学在学中の GPA が2.5以上の者、令和7年3月までに卒業見込みの者は、1年次から3年次までの累積 GPA が2.5以上の者
- ② GPA を採用していない、あるいは学業成績証明書に累積 GPA が記載されていない大学の場合、所属学科内での成績順位が上位1/3以内であることを所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ③専攻科修了見込みの者については、短期大学若しくは高等専門学校での所属学科内での成績順位が上位1/10以内であることを、所属機関が発行する書類をもって証明できる者
- ④情報科学又は情報工学を主体とする学部教育を受けていない者

【事前審査のために必要な書類（○印のある書類を提出してください）】

書類通番	1	2	3	4	5			6	7	8
専攻名等	事前審査申請書 (別紙様式8)	推薦書 (別紙様式9)	卒業(見込)証明書	成績証明書	TOEIC・TOEFLスコアの写し ※2022年4月1日以降に受験したスコアに限る (○=原則、いずれかを提出可、 ×=事前審査のための書類として認めない) ※ 枠外(注)を参照。			志望理由書 (別紙様式10)	出身(在学)学科等の履修要項等 (授業内容、単位数及び開講期がわかるもの)	出身(在学)学科等の学校案内又はパンフレット
					TOEIC 公開		TOEFL iBT			
					TOEIC L & R	TOEIC S & W				
理学専攻	物理・宇宙プログラム	○	○	○※1	○	×	○	○	○	○
	化学プログラム	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○
	生物学プログラム	○	○	○※2	○	○	○	○	○	○
	地球科学プログラム	○	○	○※2	○	×	○	○	○	○
工学専攻	機械工学プログラム	○	○	○※1	○	×	○	○	○	○
	電気電子工学プログラム	○	○	○※3	○	×	○	○	○	○
	海洋土木工学プログラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	化学工学プログラム	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	化学生命工学プログラム	○	○	○※4	○	○	○	○	○	○
	建築学プログラム	○	○	○※5	○	×	○	○	○	○
情報科学専攻	情報科学プログラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	数情報コース	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認知生体情報コース	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	協創情報コース	○	○	○	○	×	○	○	○	○

- (注) 1. ※1 GPA記載のもの。GPAが記載されていない大学等の場合は、所属学科等内での成績が上位1/4以内であることを所属機関が証明する書類も併せて提出すること。
 ※2 GPA記載のもの。GPAが記載されていない大学等の場合は、所属学科等内での成績が上位1/4以内であること又は、専攻科修了見込の者は、短期大学もしくは高等専門学校での所属学科内等で成績の上位1/4以内であることを所属機関が証明する書類も併せて提出すること。
 ※3 GPA記載のもの。GPAが記載されていない大学等の場合は、所属学科等内での成績が上位1/3以内であることを所属機関が証明する書類も併せて提出すること。
 ※4 GPA記載のもの。GPAが記載されていない大学等の場合は、所属学科等内での成績が上位1/3以内であることを、短期大学もしくは高等専門学校の場合は、所属学科等内での成績が上位1/10以内であることを所属機関が証明する書類も併せて提出すること。
 ※5 GPA記載のもの。GPAが記載されていない大学等の場合は、所属学科等内での成績が上位1/3以内であること又は、成績順位が算出できない大学等においては、専門科目の成績の1/2以上が上位の評語(点数評価にして80点相当以上)で評価されていることを所属機関が証明する書類も併せて提出すること。
 ※6 GPA記載のもの。GPAが記載されていない大学等の場合は、所属学科等内での成績が上位1/3以内であること又は、高等専門学校の場合は、所属学科内等で成績の上位1/10以内であることを所属機関が証明する書類も併せて提出すること。

スコアの種類	提出書類の名称〔写し〕	
TOEIC 公開	TOEIC L&R	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
	TOEIC S&W	TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TOEFL-iBT	TOEFL Internet-based Test Taker Score Report	
TOEFL-iBT Home Edition	Test Taker Score Report	

※ スコアの種類により、スコアに有効期限があるものや、スコアを証明する書類の再発行期間が定められているものがあるため、各自で必ず事前に確認しておくこと。

VI. 社会人特別選抜

1. 趣 旨

急激な技術革新の進展と科学技術水準の向上，並びに学校教育内容の高度化にともない，研究・開発・教育等に携わる社会人研究者や学校教育者の高度化再教育は，企業や地方自治体の活性化，並びに初・中等学校教育の質の向上のために必要となっています。このような要請に応じて，積極的に社会人並びに教職員の大学院への受入れを図り，同時に豊富な経験を有する社会人の受入れによって大学院の教育・研究を活性化させることを目的としています。

また，大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し，講義を夜間の時間帯にも開講して社会人学生の受講に便宜を図っています。

2. 出願資格

研究機関，教育機関，企業等に勤務しており，入学後もその身分を有し，所属長または，職場において本人を熟知し指導的立場にある者の受験承諾を受けた者で，次の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者（注）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（注）
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（注）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（注）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和29年2月7日文部省告示第5号参照）（注）
- (9) 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，22歳に達したもの（令和7年4月1日現在で22歳に達するものを含む）

出願資格（9）は，次に該当する者とします。

科学・技術関係の分野の業務に従事し，学習歴及び実務経験を証明する書類により，本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で，22歳に達したもの。

（令和7年4月1日現在で22歳に達するものを含みます）

（注）出願資格（3）～（8）で出願する場合は，事前にお問合わせください（問合せ先：18ページ参照）。

3. 出願資格認定審査

出願資格が(9)により出願を希望する者は、出願に先立って次の(a), (b), (c)の書類を申請期間内に本研究科に提出してください。出願資格の認定審査を受けなければなりません。

- (a) 本研究科所定の「入学試験出願資格認定審査調書」(別紙様式2)
- (b) 学習歴を証明する書類(卒業証明書・成績証明書等個人の経歴に応じたもの)
- (c) 実務経験等を証明する書類(職歴・研修歴・研究歴等実務経験および国際的活動経験等を証明する書類)

○出願資格認定審査の申請期間

第1次募集：令和6年8月6日(火)～令和6年8月8日(木) 各日9～17時

第2次募集：令和6年11月26日(火)～令和6年11月27日(水) 各日9～17時

※ 郵送の場合は、書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、申請期間最終日17時必着とします。

○出願資格認定審査の結果通知

下記日付で本人あてに通知します。

第1次募集：令和6年8月29日(木)

第2次募集：令和6年12月18日(水)

4. 募集人員

専攻名等		募集人員
理学専攻	物理・宇宙プログラム	若干人
	化学プログラム	
	生物学プログラム	
	地球科学プログラム	
工学専攻	機械工学プログラム	若干人
	電気電子工学プログラム	
	海洋土木工学プログラム	
	化学工学プログラム	
	化学生命工学プログラム	
	建築学プログラム	
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース	若干人
	認知生体情報コース	
	協創情報コース	

5. 出願期間

○出願期間

第1次募集：(1回目) 令和6年8月6日(火)～令和6年8月8日(木) 各日9～17時

(2回目) 令和6年9月2日(月)～令和6年9月3日(火) 各日9～17時

※ 出願資格認定審査の不要な者は、原則1回目の出願期間に出願すること。

第2次募集：令和7年1月7日(火)～令和7年1月9日(木) 各日9～17時

※ 郵送の場合は、書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、出願期間最終日17時必着とします。

6. 出願書類等

- (1) 出願書類は理工学研究科ホームページからダウンロードし、印刷する必要があります。
- (2) 志願者は、下表の書類を一括して、出願期間に提出してください。

出 願 書 類 等		出願資格別	注 意 事 項
1	入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 履 歴 書	全志願者	本研究科所定の用紙（別紙様式1-1, 1-2）に必要事項を記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真（縦4cm×横3cm）を所定欄に貼付してください。
2	卒 業 証 明 書 修 了 証 明 書	出願資格 (9)を除く	最終出身学校等が発行した卒業または修了証明書。
		出願資格 (9)該当者	最終出身学校等が発行した卒業または修了証明書。 【資格審査時に提出】
3	成 績 証 明 書	出願資格 (9)を除く	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし、証明書自動発行機で発行されたものは、厳封の必要はありません。 ※高等専門学校から、本学の学部へ編入学し卒業した（又は見込）の者は、「高専」「学部」両方の成績証明書を提出すること。 ※高等専門学校専攻科の修了（見込）の者は、「本科」「専攻科」両方の成績証明書を提出すること。
		出願資格 (9)該当者	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。 【資格審査時に提出】ただし、証明書自動発行機で発行されたものは、厳封の必要はありません。
4	受 験 承 諾 書	全志願者	本研究科所定の用紙（別紙様式11）により、勤務先の所属長等が記入したもの。
5	研究（希望）計画書	全志願者	本研究科所定の用紙（別紙様式12）に、希望する研究テーマまたは分野について研究計画等を記入してください。
6	業績（業務）報告書	全志願者	本研究科所定の用紙（別紙様式13-1, 13-2）により、勤務内容、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許及び実用新案等の研究活動または教育活動状況を示すものを記入してください。
7	入 学 検 定 料	全志願者	30,000円を「鹿児島大学検定料払込方法」（120ページ）を参照の上、出願期間初日の1週間前から出願までの間にコンビニエンスストア又はクレジットカードで払込み後、「収納証明書」を「検定料収納証明書貼付台紙」（118ページ）に貼り付けて出願書類に添えて提出すること。
8	返 信 用 封 筒	全志願者	〔受験票等送付用〕（1枚）（出願書類を持参する者は不要） 市販の封筒（長形3号 12cm×23.5cm）に出願者の住所・氏名・郵便番号を記入し344円切手（※）を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。※郵便料金の改定があった場合は、改定後の郵便料金分の切手が必要です。

7. 入学者の選抜方法

(1) 選考は、口述試験及び書類審査によって行います。

評価は、「A」「B」「C」の3段階で行いますが、口述試験・書類審査のうち1つでも「C」がある場合、不合格となります。

(2) 口述試験は、業績（業務）報告書及び研究（希望）計画書等について行います。

(3) 口述試験の日時及び試験場

専攻名等		期日		試験場		
		第1次募集	第2次募集			
理学専攻	物理・宇宙プログラム	令和6年 10月5日（土） 受験者集合時刻 12：40 試験開始時刻 13：00	令和7年 2月17日（月） 受験者集合時刻 12：40 試験開始時刻 13：00	鹿児島大学理学部		
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
工学専攻	機械工学プログラム			令和6年 10月5日（土） 受験者集合時刻 12：40 試験開始時刻 13：00	令和7年 2月17日（月） 受験者集合時刻 12：40 試験開始時刻 13：00	鹿児島大学工学部
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム					
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
建築学プログラム	鹿児島大学理学部					
情報科学専攻		情報科学プログラム 数理情報コース	鹿児島大学工学部			
		認知生体情報コース				
	協創情報コース					

* 1. 試験開始後30分を超えて遅刻したときは、受験を認めません。

* 2. 選抜試験は、第1次募集と第2次募集の2回実施します。

* 3. 日時、試験場等の詳細は、下記の日時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。

第1次募集：令和6年10月4日（金）14時

第2次募集：令和7年2月14日（金）14時

* 4. 受験者数によっては、期日を変更する場合があります。その場合は、事前に指示します。

* 5. 原則として、追試験は行いません。

Ⅶ. 外国人留学生特別選抜

1. 募集人員

専攻名等		募集人員
理学専攻	物理・宇宙プログラム	若干人
	化学プログラム	
	生物学プログラム	
	地球科学プログラム	
工学専攻	機械工学プログラム	若干人
	電気電子工学プログラム	
	海洋土木工学プログラム	
	化学工学プログラム	
	化学生命工学プログラム	
	建築学プログラム	
情報科学専攻	情報科学プログラム 数理情報コース	若干人
	認知生体情報コース	
	協創情報コース	

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の要件を満たす者とします。

(1) 日本語が理解できる者。以下の日本留学試験（日本語）又は日本語能力試験のスコア等を取得する必要がある。ただし、出願資格(2)の①に該当する場合は日本留学試験（日本語）、又は日本語能力試験のスコア等の取得は必要ない。

また、本研究科へ入学することを前提とした各種留学プログラムの採択者については、日本留学試験（日本語）又は日本語能力試験のスコア等を免除する場合があるので、該当者は願書提出前に希望する研究指導教員へ問い合わせること。

日本留学試験：日本語220点以上（記述を除く）、日本語記述30点以上

日本語能力試験：N1又はN2

※ 出願書類として提出可能な「日本留学試験のスコア」又は「日本語能力試験の認定」を証明する書類は、2022年以降に受験した1回の成績のものに限る。

(2) 次のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国

VII. APPLICATION PROCEDURES FOR INTERNATIONAL STUDENTS SPECIAL ADMISSIONS

1. Admission Capacity

Department and Program		Admission Capacity
Department of Science	Physics and Astronomy Program	A few
	Chemistry Program	
	Biology Program	
	Earth Science Program	
Department of Engineering	Mechanical Engineering Program	A few
	Electrical and Electronics Engineering Program	
	Ocean Civil Engineering Program	
	Chemical Engineering Program	
	Chemistry and Biotechnology Program	
	Architecture and Architectural Engineering Program	
Department of Informatics	Information Science Program	A few
	Mathematics and Informatics Course	
	Biological Cognitive Informatics Course	
	Collaborative Informatics Course	

2. Qualification for Application

Applicants should not hold Japanese nationality and must satisfy the next conditions.

(1) Those who understand Japanese.

You are required to submit the scores of the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU) or Japanese-Language Proficiency Test (JLPT) listed below. However, if your application status belongs to (2)-①, such scores are not required.

Also, if you are a designated scholarships recipient on conditions of your admission to our graduate school, you might be exempt from submission of those scores. Please contact your prospective academic advisor in advance.

Examination for Japanese University Admission for International

Students (EJU): a score of 220 or above on the Japanese proficiency section (excluding the written examination) and a score of 30 or above on the written examination

Japanese-Language Proficiency Test (JLPT): N1 or N2

* Any document verifying **EJU** the score or **JLPT** the certification included with your application documents must reflect the results of an examination taken after January 1, 2022.

(2) Those who must belong to one of the following categories.

- ① Those who have already graduated, or are expected to graduate from Japanese university by the end of March, 2025.
- ② Those who have been formally educated for 16 years in countries outside Japan, or are expected to graduate by the end of March, 2025.
- ③ Those who while residing in Japan have completed or are expected to complete by the end of March 2025 at least 16 years of formal education through correspondence courses offered by accredited foreign educational institutions outside Japan.
- ④ Those who while residing in Japan have completed or are expected to complete by the end of March 2025 undergraduate studies at a foreign college or university located in Japan (after 16 years of formal education under the educational system of that foreign country), which has been accredited by the educational system of that particular country and is appointed by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- ⑤ Those who have completed, at overseas educational institutions such as a university of a foreign country (but limited to those whose overall educational, research and other activities have been accredited by the government of the foreign country or those designated separately by the Minister of Education, Culture and Sports of Japan as equivalent to the foregoing), a course whose length of study is three years or longer (including the cases such as completing the course by studying the subjects in Japan through a correspondence education offered by the foreign school or completing the course offered by an educational institu-

- の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ⑦ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者であると本研究科において認めた者
 - ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの（令和7年（2025年）4月1日時点で22歳に達するものを含む）

出願資格⑧は、次に該当する者とする。

科学・技術関係の分野の業務に従事し、学習歴及び実務経験を証明する書類により、本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年（2025年）4月1日時点で22歳に達するもの。

3. 出願資格認定審査

出願資格が⑦、⑧により出願する者は、出願に先立って次の(a)、(b)、(c)の書類を申請期間内に本研究科に提出してください。出願資格の審査を受けなければなりません。

- (a) 本研究科所定の「入学試験出願資格認定審査調書」（別紙様式15-1～15-4）
- (b) 学習歴を証明する書類（卒業証明書・成績証明書等個人の経歴に応じたもの）
- (c) 実務経験等を証明する書類（職歴・研修歴・研究歴等実務経験および国際的活動経験等を証明する書類）

出願資格認定審査

(1) 申請期間

第1次募集：令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木）

第2次募集：令和6年11月26日（火）～令和6年11月27日（水）

- (a) 受付時間は9時から17時までとします。
 - (b) 郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、申請期間最終日17時必着とします。
- (2) 出願資格審査の結果は、下記日付で本人あてに通知します。
- 第1次募集：令和6年8月29日（木）
- 第2次募集：令和6年12月18日（水）

4. 出願手続

出願期間

第1次募集：（1回目）令和6年8月6日（火）～令和6年8月8日（木）各日9～17時

（2回目）令和6年9月2日（月）～令和6年9月3日（火）各日9～17時

※ 出願資格認定審査の不要な者は、原則1回目の出願期間に出願すること。

第2次募集：令和7年1月7日（火）～令和7年1月9日（木）

- (a) 受付時間は9時から17時までとします。
- (b) 郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、出願期間最終日17時必着とします。

問合せ先・出願書類等提出先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話(099)285-3057・8234 FAX(099)285-3410

E-mail: sedaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

tion certified by the school education system of the foreign country and designated separately by the Minister of Education, Culture and Sports of Japan) and been awarded a degree equivalent to a bachelor's degree.

- ⑥ Those who have completed a specialization course in a college after it has been appointed by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (applicants must complete the minimum required 4 years of study and satisfy other standards stipulated by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology).
- ⑦ Those who have completed 15 years course of school education in foreign country, and been admitted by the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University to obtain sufficient credits with excellent score.
- ⑧ Those who are approved for the achievements of academic and professional activities according to the procedures of judging by the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University, to have academic standard, equivalent to or above of the university graduate, and 22 years old or over at the time of April, 2025. [See Note 1]

Note 1: Qualification ⑧ can be applied for those who have been engaged the work in the field of science or engineering, and are approved by the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University, to have academic standard, equivalent to or above of the university graduate from the judgment due to the documents about educational background and professional carrier, and of age 22 years or more by April 1, 2025.

3. Eligibility Check before Application

Applicants who wish to apply for admission under category ⑦ or ⑧ must submit the following forms, (a), (b) and (c) to the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University within the application period before filing the application for eligibility check:

- (a) Summary of academic and professional activities (use the prescribed form: Form 15-1 to 15-4)
- (b) Certificated academic record
- (c) Certificated professional experience

Eligibility Check

(1) Acceptance period

first application: From Aug.6 to Aug.8, 2024.

second application: From Nov.26 to Nov.27, 2024.

- (a) Office hours: from 9 a.m. to 5 p.m.
 - (b) In the case of mailing, it must be sent by registered mail, and write "The Master's Course Application Documents" in red on the envelope. All required documents must reach the Admission Office by the application deadline 5 p.m.
- (2) The decision will be mailed to the applicants at the following date.
- first application: Aug.29, 2024.
 - second application: Dec.18, 2024.

4. Application Procedure

Application period

first application: From Aug.6 to Aug.8, 2024 & From Sep.2 to Sep.3,2024 (In principle, applicants corresponding to Qualification ⑦ or ⑧).

second application: From Jan.7 to Jan.9, 2025.

- (a) Office hours: from 9 a.m. to 5 p.m.
- (b) In the case of mailing, it must be sent by registered mail, and write "The Master's Course Application Documents" in red on the envelope. All required documents must reach the Admission Office by the application deadline 5 p.m.

Inquiry and Submission Addresses of Admissions Office

Student Affairs Division, Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University 1-21-40 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan. TEL: +81-99-285-3057 FAX: +81-99-285-3410 E-mail: sedaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

5. 出願書類等

- (1) 出願書類は本学大学院理工学研究科ホームページからダウンロードし、印刷する必要があります。
- (2) 下記の出願書類は、日本語または英語で作成してください。

出願書類等		出願資格別	注意事項																	
1	入学志願票 受験真歴 票票票書	全志願者	本研究科所定の用紙（別紙様式14-1～14-3）に必要事項を記入してください。写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を貼付してください。																	
2	卒業（見込）証明書	出願資格⑧を除く	最終出身学校等が発行したもの。																	
		出願資格⑧該当者	最終出身学校等が発行した卒業（見込）証明書。 【資格審査時に提出】																	
3	成績証明書	出願資格⑧を除く	最終出身学校等が発行したもの。																	
		出願資格⑧該当者	最終出身学等が発行したもの。 【資格審査時に提出】																	
4	日本留学試験成績に関する証明書又は日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書（原本） （2022年以降に受験した1回の成績のものに限る）	原則として全志願者（出願資格(2)の①に該当する場合等は必要ありません）	受験するプログラム毎に証明書提出の有無ならびに種類が違いますので、必ず「外国人留学生特別選抜の外国語について」（61～62ページ参照）を確認したうえで、提出してください。																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">提出可能な証明書のスコア等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本留学試験</td> <td>日本語220点以上（記述を除く）、日本語記述30点以上</td> </tr> <tr> <td>日本語能力試験</td> <td>N1又はN2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 証明書の種類により、有効期限があるものや、再発行期間が定められているものがあるため、各自で必ず事前に確認しておくこと。</p>	提出可能な証明書のスコア等		日本留学試験	日本語220点以上（記述を除く）、日本語記述30点以上	日本語能力試験	N1又はN2											
提出可能な証明書のスコア等																				
日本留学試験	日本語220点以上（記述を除く）、日本語記述30点以上																			
日本語能力試験	N1又はN2																			
5	TOEICスコア又はTOEFLスコア （令和4（2022）年4月1日以降受験したもの）	原則として全志願者	受験するプログラム毎にスコア提出の有無ならびに種類が違いますので、必ず「外国人留学生特別選抜の外国語について」（61～62ページ参照）を確認したうえで、提出してください。																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">スコアの種類</th> <th>提出書類の名称〔原本〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">TOEIC公開</td> <td>TOEIC L&R</td> <td>TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>TOEIC S&W</td> <td>TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEIC-IP</td> <td>TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEFL-iBT</td> <td>TOEFL Internet-based Test Taker Score Report</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEFL-iBT Home Edition</td> <td>Test Taker Score Report</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOEFL-ITP</td> <td>TOEFL ITP Score Report</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ スコアの種類により、スコアに有効期限があるものや、スコアを証明する書類の再発行期間が定められているものがあるため、各自で必ず事前に確認しておくこと。</p>	スコアの種類		提出書類の名称〔原本〕	TOEIC公開	TOEIC L&R	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEIC S&W	TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEIC-IP		TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report	TOEFL-iBT		TOEFL Internet-based Test Taker Score Report	TOEFL-iBT Home Edition		Test Taker Score Report
スコアの種類		提出書類の名称〔原本〕																		
TOEIC公開	TOEIC L&R	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE																		
	TOEIC S&W	TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE																		
TOEIC-IP		TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report																		
TOEFL-iBT		TOEFL Internet-based Test Taker Score Report																		
TOEFL-iBT Home Edition		Test Taker Score Report																		
TOEFL-ITP		TOEFL ITP Score Report																		
6	住民票（写）又はパスポート（写）	全志願者	市区町村長の交付する在留資格が記載された住民票の写し（日本国内在住の外国人の場合のみ）又はパスポートの写し（「受験」のために入国する場合）を提出してください。																	
7	検定料	国費外国人留学生を除く全志願者	30,000円を「鹿児島大学検定料払込方法」（120ページ）を参照の上、出願期間初日の1週間前から出願までの間にコンビニエンスストア又はクレジットカードで払込み後、「収納証明書」を「検定料収納証明書貼付台紙」（118ページ）に貼り付けて出願書類に添えて提出すること。なお、外国政府派遣留学生等に関して、留学生からの申請があった場合、検定料を免除します。ただし、外国の政府等から検定料が支給されている場合は適用しません。																	
8	返信用封筒	全志願者	[受験票等送付用]（1枚）（出願書類を持参する者は不要） 市販の封筒（長形3号 12cm×23.5cm）に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し344円切手（※）を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。※郵便料金の改定があった場合は、改定後の郵便料金分の切手が必要です。																	

（注）出願後、日本留学試験成績に関する証明書、日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書、TOEIC・TOEFLスコア（原本）の返却を希望する者は、次の事項を記載した紙（A4判・様式任意）により、当該入試合格発表日以降に申し出ること。なお、郵送による返却を希望する者は、所要の切手を貼付した返信用封筒も同封すること。

- ・志願者氏名
- ・志願するプログラム名
- ・返却を希望する旨の文章（試験当日に追加で提出するスコア（原本）の返却も希望する場合は、その旨も記載すること）

※スコアの返却は、当該入試合格者発表日以降に行う。

5. Application Documents

The application documents must be downloaded from the Kagoshima University Graduate School of Science and Engineering homepage and printed.

Applicants must submit the following documents filled in Japanese or English to the Postgraduate Affairs Section, Faculty of Engineering, during the given application period.

Application Forms and Documents		Category of Applicants	Notes											
1	Application for Admission Identification for Examination, Photograph Sheet, Personal History	All applicants	Use the prescribed form (Form 14-1 to 14-3) and paste your photograph (hatless, facing forward, 4×3cm, taken within 3 months) as indicated.											
2	Certificate of Bachelor's Degree (obtained or expected)	Applicants exclusive of Qualification ⑧	The certificate must be an official document.											
		Applicants corresponding to Qualification ⑧	Submit graduation certificate of the last school attended. It must be submitted at the time of the application for recognition of Qualification.											
3	Certified Academic Record	Applicants exclusive of Qualification ⑧	Submit official transcript of the last school attended .											
		Applicants corresponding to Qualification ⑧	Submit official transcript of the last school attended. It must be submitted at the time of the application for recognition of Qualification.											
4	Certificate (original) verifying the results and scores of Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU) or Japanese-Language Proficiency Test (JLPT). (The documents must reflect the results of an examination taken after January 1, 2022.)	In principle, every applicant is required to submit this. (However, if your application status belongs to (2)-①, such scores are not required.)	Different certificates are required depending on the program you apply for. Please make sure to confirm "About foreign language for Special Entrance Examination for International Students" (refer to 63–64 pages) before submission											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">Types of scores we accept</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)</td> <td>A score of 220 or over on the Japanese proficiency section (excluding the written examination); and a score of 30 or over on the written examination</td> </tr> <tr> <td>Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)</td> <td>N1 or N2</td> </tr> </tbody> </table> <p>* Some certificates have a validity date or reissue period. It is your responsibility to be aware of such restrictions in advance.</p>	Types of scores we accept		Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)	A score of 220 or over on the Japanese proficiency section (excluding the written examination); and a score of 30 or over on the written examination	Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)	N1 or N2					
Types of scores we accept														
Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)	A score of 220 or over on the Japanese proficiency section (excluding the written examination); and a score of 30 or over on the written examination													
Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)	N1 or N2													
5	TOEIC or TOEFL Score (conducted on or after 1 April 2022)	In principle, all candidates must submit a score	As the score requirements differ from program to program, refer, in advance, to the International Students Special Admissions: Foreign Language Examinations on pages 63 to 64.											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>Score type</th> <th>Name of the submitted document (original)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOEIC</td> <td>TOEIC L&R TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td></td> <td>TOEIC S&W TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE</td> </tr> <tr> <td>TOEIC-IP</td> <td>TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-iBT</td> <td>TOEFL Internet-based Test Taker Score Report</td> </tr> <tr> <td>TOEFLiBT Home Edition</td> <td>Test Taker Score Report</td> </tr> <tr> <td>TOEFL-ITP</td> <td>TOEFL ITP Score Report</td> </tr> </tbody> </table> <p>* As some scores may have an expiration date and/or document re-issuance period to certify how scores may be determined, be sure to check in advance that such issues do not pertain.</p>	Score type	Name of the submitted document (original)	TOEIC	TOEIC L&R TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE		TOEIC S&W TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	TOEIC-IP	TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report	TOEFL-iBT	TOEFL Internet-based Test Taker Score Report	TOEFLiBT Home Edition
Score type	Name of the submitted document (original)													
TOEIC	TOEIC L&R TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE													
	TOEIC S&W TOEIC Speaking & Writing OFFICIAL SCORE CERTIFICATE													
TOEIC-IP	TOEIC Listening & Reading Institutional Program (IP) Score Report													
TOEFL-iBT	TOEFL Internet-based Test Taker Score Report													
TOEFLiBT Home Edition	Test Taker Score Report													
TOEFL-ITP	TOEFL ITP Score Report													
6	Copy of a Certificate of Residence	All applicants	Foreign applicants must submit a "Copy of a certificate of residence" issued by the head administrator of the city or other district in which his/her status of residence is stated. Overseas applicants coming to Japan for the entrance examination must submit a copy of their passport											
7	Examination Fee	All applicants exclusive of International students who receive a Japanese Government Scholarship	¥30,000. Attach the Official Receipt of the Examination Fee and the Screening Fee Receipts to the Confirmation Slip on page 118 after paying the fee at a convenience store or by credit card. Refer to "How to pay the examination fee at Kagoshima University" on page 121. (A transfer fee payment will be charged in addition to other incurred fees associated with transfers.) This must be completed during the time starting one week prior to the opening of the application period and the end of the application period. Foreign-government sponsored students who apply for an exemption from the admission fee will be granted an exemption. However, students receiving the admissionfee from their government will not be exempted.											
8	Three Return Envelopes	All applicants	[For a letter of identification of examination] This return envelope is a self-addressed envelope of 12 cm×23.5 cm affixed a ¥344 stamp* on it. In case the address is outside Japan, an international reply coupon for a airmail postage for a worth 20 grams must be enclosed. (If the application documents are brought to the Postgraduate Affairs Section, Faculty of Engineering by an applicant oneself, this is not necessary.) * In case the postage charge changes, stamps equivalent to the amount of the revised postage charge are required.											

Note: Those who wish to have their Certificate verifying scores for the Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU), certificate verifying result and scores for Japanese-Language Proficiency Test (JLPT) or TOEIC or TOEFL score (original) returned must attach a letter (size A4 of any style) detailing the following items after the announcement of the examination results. In addition, anyone who wishes to have them returned by postal mail must also enclose a return envelope with the required stamp attached.

Applicant's name

- Name of the Program you are applying for
- Statement requesting the return of the score sheet (Please state if you wish to have the score sheet (original), which is additionally submitted on the test day, to be returned.)
- We will return the score sheet after the announcement of the examination results.

6. 入学者の選抜方法

専門科目、口頭試問を含む面接及び出願書類等により、十分な学力を有すると判断できる者を合格者とします。

試験科目等において得点が著しく低いものがある場合、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

なお、専攻が課す科目等のうち、1つでも受験しなかった者は失格となり、合否判定の対象者とはなりません。

7. 外国人留学生特別選抜の外国語について

外国人留学生特別選抜の「外国語」の評価を行う書類について、次に示します。

志望するプログラムや志願者が「英語を母国語とする者」か否かなどにより、出願の際に提出する書類が異なりますので、注意してください。

※ 本研究科へ入学することを前提とした各種留学プログラムの採択者については、日本留学試験（日本語）又は日本語能力試験のスコア等を免除する場合がありますので、該当者は願書提出前に希望する研究指導教員へ問い合わせてください。

(1) 評価を行う書類		
志願者の母国語	志願者が、出願資格(2)の①(日本の大学を卒業した者及び令和7年(2025年)3月までに卒業見込みの者)に該当するか	評価を行う書類 (出願時に提出する書類)
英語	該当する場合	成績証明書(日本語学修に関係する部分)
	該当しない場合	日本留学試験(日本語220点以上(記述を除く)、日本語記述30点以上)のスコア、又は日本語能力試験(N1又はN2)の認定を証明する書類 ※ いずれも2022年以降に受験した1回の成績のものに限る。
英語以外	該当する場合	TOEIC・TOEFLスコア(提出可能なスコアは下記(2)のとおり) ※ 2022年4月1日以降に受験したスコアに限る。
	該当しない場合	①と②の両方 ① 日本留学試験(日本語220点以上(記述を除く)、日本語記述30点以上)のスコア、又は日本語能力試験(N1又はN2)の認定を証明する書類 ※ いずれも2022年以降に受験した1回の成績のものに限る。 ② TOEIC・TOEFLスコア(提出可能なスコアは下記(2)のとおり) ※ 2022年4月1日以降に受験したスコアに限る。

(2) TOEIC・TOEFL スコアについて

上記(1)で示した TOEIC・TOEFL スコアについて、提出可能なスコアの種類を次に示します。

志望するプログラムにより内容が異なりますので、注意してください。

専攻名等		提出可能なスコアの種類 (2022年4月1日以降に受験したスコアに限る)					出願時に左記のスコアを提出後、新たにスコア(原本)の提出を希望する場合の提出日時※3
		TOEIC 公開 ※1		TOEIC-IP ※2	TOEFL-iBT	TOEFL-ITP ※2	
		TOEIC L & R	TOEIC S & W				
理学専攻	物理・宇宙プログラム	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	化学プログラム	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	生物学プログラム	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	地球科学プログラム	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
工学専攻	機械工学プログラム	○	×	×	○	×	試験当日の面接時
	電気電子工学プログラム	○	×	×	○	×	試験当日の面接時
	海洋土木工学プログラム	○	○	○	○	×	試験当日の面接時
	化学工学プログラム	○	×	×	○	×	試験当日の面接時
	化学生命工学プログラム	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
	建築学プログラム	○	×	○	○	×	試験当日の面接時
情報科学専攻	情報科学プログラム						
	数理情報コース	○	○	×	○	×	試験当日の面接時
	認知生体情報コース	○	×	○	○	○	試験当日の面接時
	協創情報コース	○	×	○	○	○	試験当日の面接時

※1 TOEIC 公開テストのスコアを提出する場合は、デジタル公式認定証の QR コードが表示された PDF 版を印刷して提出することができます。

※2 TOEIC-IP テスト又は TOEFL-ITP のスコアを提出する場合は、本学の理学部内又は工学部内で受験した者に限り提出可。

※3 複数のスコアが提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

6. Screening and Examination Procedure

Whether or not an applicant will pass is determined comprehensively based on the major subjects, an interview and the Application Documents.

When you have an extremely low-scored subject, interview, or document, you will fail the examination regardless of the total score.

Those Applicants who fail to take even one of the subjects required by the department will be disqualified and will not be eligible for a pass-or-fail decision.

7. International Students Special Admissions: Foreign Language Examinations

Documents to evaluate “foreign language” for Special Entrance Examination for International Students are as follows.

Please check carefully because application documents differ depending on the program you apply for and whether your mother language is English or not.

Also, if you are a designated scholarships recipient on conditions of your admission to our graduate school, you might be exempt from submission of those scores. Please contact your prospective academic advisor in advance.

(1) Documents

Required documents (documents to be submitted at the application)		
Mother language of an applicant	If an applicant's situation is relevant to the application status of (2)-① (those who graduated or expected to have graduated from Japanese universities by March, 2025).	
English	Applicable	Academic transcript (parts related to Japanese language learning)
	Not applicable	A document verifying Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU): a score of 220 or over on the Japanese proficiency section (excluding the written examination); a score of 30 or over on the written examination or the certification Japanese-Language Proficiency Test (JLPT) of N1 or N2. * The documents must reflect the results of an examination taken after January 1, 2022.)
Language other than English	Applicable	TOEIC and/or TOEFL score (score according the following conditions (2) are acceptable.) * Limited to the score obtained after April 1, 2022.
	Not applicable	<u>Both ① and ②</u> ① A document verifying Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU): a score of 220 or over on the Japanese proficiency section (excluding the written examination); a score of 30 or over on the written examination or the certification Japanese-Language Proficiency Test (JLPT) of N1 or N2. * The documents must reflect the results of an examination taken after January 1, 2022. ② TOEIC and/or TOEFL score (score according the following condition (2) is acceptable.) * Limited to the score obtained after April 1, 2022.

(2) About TOEIC and/or TOEFL score

The following TOEIC and/or TOEFL scores indicated above in (1) are acceptable.

Please check carefully because the requirements differ depending on the department for which you apply.

Department		A	B	C	D	E	You may submit a new official score(s) on the test indicated in the columns on the left (A to E). If you intend to do so, submit it/them between the times indicated below. *3	
		TOEIC and/or TOEFL score						
		Types of scores we accept						
		Only official score(s) of TOEIC and/or TOEFL that you have taken on or after 1 April 2022. (○ = Submit an "original" score (or scores) × = Unacceptable as an application document)						
		TOEIC *1		TOEIC -IP *2	TOEFL -iBT	TOEFL -ITP *2		
TOEIC L & R	TOEIC S & W							
Department of Science	Physics and Astronomy Program	○	×	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Chemistry Program	○	×	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Biology Program	○	×	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Earth Science Program	○	×	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
Department of Engineering	Mechanical Engineering Program	○	×	×	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Electrical and Electronics Engineering Program	○	×	×	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Ocean Civil Engineering Program	○	○	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Chemical Engineering Program	○	×	×	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Chemistry and Biotechnology Program	○	×	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
	Architecture and Architectural Engineering Program	○	×	○	○	×	At the time of the interview on the day of the examination	
Department of Informatics	Information Science Program	Mathematics and Informatics Course	○	○	×	○	×	At the time of the interview on the day of the examination
		Biological Cognitive Informatics Course	○	×	○	○	○	At the time of the interview on the day of the examination
		Collaborative Informatics Course	○	×	○	○	○	At the time of the interview on the day of the examination

*1 If you submit an official digital certificate of TOEIC, please print and submit the PDF version with the QR code.

*2 Submissions accepted only from undergraduate student who has taken the examination at the Faculty of Science or Faculty of Engineering, Kagoshima University.

*3 If you submit two or more official scores, the best score will be adopted.

8. 試験科目・日時及び場所

(a) 試験

第1次募集：令和6年10月5日（土）
 第2次募集：令和7年2月17日（月） } 原則として、追試験は行いません。

☆試験時間と試験科目

専攻名等		時刻										
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
理学専攻	物理・宇宙プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
	化学プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
	生物学プログラム	8:40 集合	口頭試験を含む面接 9:00～									
	地球科学プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
工学専攻	機械工学プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
	電気電子工学プログラム	8:40 集合	専門科目 9:00～10:30						口頭試験を含む面接 13:00～			
	海洋土木工学プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
	化学工学プログラム	8:40 集合	専門科目 9:00～11:00						口頭試験を含む面接 13:00～			
	化学生命工学プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース						12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
		認知生体情報コース						12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
		協創情報コース						12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～			
		建築学プログラム							12:40 集合	口頭試験を含む面接 13:00～		

☆各試験科目等の試験開始後30分を超えて遅刻したときは、その科目等の受験を認めません。

【専門科目及び口頭試験を含む面接について】

物理・宇宙プログラム	口頭試験では力学、統計力学、熱力学、電磁気学、量子力学を含む物理の基礎的な内容の理解を問う口頭試験、卒業研究の内容及び博士前期課程で行う研究又は志望理由の質疑応答を行う。
化学プログラム	口頭試験では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についてパワーポイント等の資料に基づいて説明した後、内容についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
生物学プログラム	口頭試験では、生物学に関する専門分野の知識、卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究の内容について問う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。 生物学の専門分野に関する知識については、指示されたテーマについて面接用資料を作成する時間を設け、それを回収した後、口頭で質疑応答を行う。資料などの持ち込みは禁止する。
地球科学プログラム	口頭試験では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
機械工学プログラム	口頭試験では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
電気電子工学プログラム	専門科目では、応用数学、電磁気学、電気回路学などの電気電子工学に関する専門分野の知識を問う。合わせて、博士前期課程で行う予定の研究計画などについても問う。口頭試験では、専門科目で解答した内容や志望理由などについて質問する。
海洋土木工学プログラム	口頭試験では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についてパワーポイント等の資料に基づいて説明した後、内容についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。 プレゼンテーションの詳細は、海洋土木工学プログラムのホームページ (https://www.oce.kagoshima-u.ac.jp/news/) を確認すること。
化学工学プログラム	専門科目では、移動現象論、化工熱力学、単位操作、反応工学、無機化学の5科目に関する筆記試験を行う。5科目の中から4科目を選択し、解答すること。関数電卓は試験時に貸与するものを使用すること。口頭試験では、専門科目で解答した内容や志望理由等について質問する。
化学生命工学プログラム	口頭試験では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究について説明した後、内容についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
建築学プログラム	口頭試験では、現在行っている卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究についての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。
数理情報コース	口頭試験では卒業研究で学んでいる内容及び博士前期課程で行いたい研究内容について質疑応答を行うと同時に、数学に関する基礎知識(微分積分学、線形代数)を問う。また、志望理由及び将来の進路についても問う。
認知生体情報コース及び協創情報コース	口頭試験を含む面接では、卒業研究の内容及び博士前期課程で行う予定の研究とその基礎知識などについての質疑応答を行う。加えて、志望理由及び将来の進路についても問う。

8. Selected subjects of examination, Date and Place of Examination

(a) Examination

first application: Oct.5, 2024
 second application: Feb.17, 2025 } In principle, make-up examinations will not be conducted.

★ Examination Time and Examination Subjects

Department		Time	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
Department of Science	Physics and Astronomy Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
	Chemistry Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
	Biology Program	Meeting Time 8:40	Oral Examination (interview) 9:00-								
	Earth Science Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
Department of Engineering	Mechanical Engineering Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
	Electrical and Electronics Engineering Program	Meeting Time 8:40	Major Subject 9:00-10:30					Oral Examination (interview) 13:00-			
	Ocean Civil Engineering Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
	Chemical Engineering Program	Meeting Time 8:40	Major Subject 9:00-11:00					Oral Examination (interview) 13:00-			
	Chemistry and Biotechnology Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
	Architecture and Architectural Engineering Program					Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
Department of Informatics	Information Science Program	Mathematics and Informatics Course				Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
		Biological Cognitive Informatics Course				Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			
		Collaborative Informatics Course				Meeting Time 12:40		Oral Examination (interview) 13:00-			

[※ refer to the following:]

Physics and Astronomy Program	The oral examination will test your understanding of fundamental physics, including mechanics, statistical mechanics, thermodynamics, electromagnetism, and quantum mechanics. In addition, we will ask you about your graduation research, the research to be conducted in the master's course, or the reasons for applying to the master's course in the interview.
Chemistry Program	In the interview, a presentation and oral examination of the research field will be required. In the screening, the ability, aptitude, motivation, foreign language skills (English and Japanese), etc. necessary for human resource development that meet our educational goals will be evaluated based on the certificate academic record, documents to evaluate "foreign language", and interview.
Biology Program	In the oral examination, students are asked about their knowledge of the specialized field of biology, the content of the graduation research and the content of the research they intend to carry out in the Master's course. In addition, they are asked about their reasons for applying and their future plans. Regarding knowledge of the specialized field of biology, time is given to summarise their own opinions on the indicated topic, which is collected and used for an interview session. No materials may be brought in.
Earth Science Program	In the oral examination (interview), applicants will be asked to answer questions related to the current research for the applicants' graduation thesis and research plan in the master's course. In addition, applicants will also be asked questions about the applicants' motivation for applying and the career path after completing the master's course.
Mechanical Engineering Program	In the oral examination (interview), applicants will be asked to answer questions related to the current research for the applicant's graduation thesis and research plan in the master's course. In addition, applicants will be also asked questions about the applicant's motivation for applying and the career path after completing the master's course.
Electrical and Electronics Engineering Program	Examination for Major Subjects tests examinees' knowledge of specialized fields related to electrical and electronic engineering such as applied mathematics, electromagnetism, and electrical circuits. In addition, we will also ask about the research plans in their master's program during the examination. In the oral examination, applicants will be asked about the answers given in the Examination for Major Subjects tests and the reasons for applying.
Ocean Civil Engineering Program	In the oral examination, a presentation about the content of graduation research and research plan in master's course will be required, applicants are asked related the content. In addition, we will also ask about their reasons for applying and future plans. For presentation details, please check the Ocean Civil Engineering Program homepage (https://www.oce.kagoshima-u.ac.jp/news/).
Chemical Engineering Program	In major subjects (written examination), select 4 subjects from Transport Phenomena, Thermodynamics, Unit Operation, Chemical Reaction Engineering, and Inorganic Chemistry. The scientific calculator is loaned though cannot be brought in. In oral examination, answer questions regarding major subjects and explain the reason for the choice of the Chemical Engineering Program for the master's degree.
Chemistry and Biotechnology Program	During the oral examination, the applicants are expected to provide a detailed explanation of their current graduation research as well as the research they plan to conduct throughout the Master's Program upon admission. The interviewers will then ask questions regarding the applicants' explanations and inquire about their reasons for applying and future plans.
Architecture and Architectural Engineering Program	Applicants are expected to explain their undergraduate graduation project. They must also present a research proposal for their Masters' Thesis. Interviewers will ask questions based on the material presented, including reason for application and how the proposed research will contribute to your future development.
Mathematics and Informatics Course	In the interview, you will be asked to explain what you are studying in the undergraduate seminar and what you want to study in the master course, and will receive some questions concerning them. You will also receive some questions on basic undergraduate mathematics (calculus and linear algebra). Moreover, you will be asked to explain the reason for your application and your future prospect after graduation.
Biological Cognitive Informatics Course, Collaborative Informatics Course	We will ask about (1) the reason why you choose our course for the master's degree, (2) your research plan for the master's program, and (3) your carrier plan in the Oral Examination (interview). Details about your graduation research will be also asked in the interview to confirm your knowledge involved in your research and the feasibility of your research plan.

☆試験科目配点

専攻名等		専門科目	口頭試問を含む面接	成績証明書	外国語	総点	
理学専攻	物理・宇宙プログラム		200	[注1]	※	200	
	化学プログラム		200	[注1]	※	200	
	生物学プログラム		200	[注1]	※	200	
	地球科学プログラム		200	[注1]	※	200	
工学専攻	機械工学プログラム		100	200	※	300	
	電気電子工学プログラム	100	75	100	※	275	
	海洋土木工学プログラム		200	[注1]	※	200	
	化学工学プログラム	200	200	[注1]	※	400	
	化学生命工学プログラム		200	200	※	400	
	建築学プログラム		100	100	※	200	
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース		300	[注1]	※	300
		認知生体情報コース		300	[注1]	※	300
		協創情報コース		300	[注1]	※	300

[注1] 物理・宇宙プログラム，化学プログラム，生物学プログラム，地球科学プログラム，海洋土木工学プログラム，化学工学プログラム，情報科学プログラムの「成績証明書」については，選抜の際の基礎資料とします。

☆試験開始後30分を超えて遅刻したときは，その科目等の受験を認めません。

☆上表の外国語に※印のあるプログラムは，外国語の評価は「A」「B」「C」の3段階で行います。

☆化学工学プログラムは，関数電卓の持ち込みはできませんが，試験時に貸与します。

(b) 試験場

専攻名等		試験場	
理学専攻	物理・宇宙プログラム	鹿児島大学理学部	
	化学プログラム		
	生物学プログラム		
	地球科学プログラム		
工学専攻	機械工学プログラム	鹿児島大学工学部	
	電気電子工学プログラム		
	海洋土木工学プログラム		
	化学工学プログラム		
	化学生命工学プログラム		
	建築学プログラム		
情報科学専攻	情報科学プログラム	数理情報コース	鹿児島大学理学部
		認知生体情報コース	鹿児島大学工学部
		協創情報コース	

*日時，試験場等の詳細は，下記の日時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。

第1次募集：令和6年10月4日（金）14時

第2次募集：令和7年2月14日（金）14時

★ Written Examination Mark Distribution by Subject

Department		Major Subjects	Interview	Certified Academic Record	Foreign Language	Total	
Department of Science	Physics and Astronomy Program		200	[*]	※	200	
	Chemistry Program		200	[*]	※	200	
	Biology Program		200	[*]	※	200	
	Earth Science Program		200	[*]	※	200	
Department of Engineering	Mechanical Engineering Program		100	200	※	300	
	Electrical and Electronics Engineering Program	100	75	100	※	275	
	Ocean Civil Engineering Program		200	[*]	※	200	
	Chemical Engineering Program	200	200	[*]	※	400	
	Chemistry and Biotechnology Program		200	200	※	400	
	Architecture and Architectural Engineering Program		100	100	※	200	
Department of Informatics	Information Science Program	Mathematics and Informatics Course		300	[*]	※	300
		Biological Cognitive Informatics Course		300	[*]	※	300
		Collaborative Informatics Course		300	[*]	※	300

[*]shown in the above table will be used as the basic materials in the screening and examination.

★ Applicants who are more than 30 minutes late for the examination time can't take the subject.

★ If you apply for program with ※ mark attached to the language column in the above table, the foreign language evaluation will be made into three levels of A, B and C.

★ Chemical Engineering Program: The scientific calculator is loaned though cannot bring in.

(b) Place of examination

Department		Place of examination
Department of Science	Physics and Astronomy Program	Faculty of Science, Kagoshima University
	Chemistry Program	
	Biology Program	
	Earth Science Program	
Department of Engineering	Mechanical Engineering Program	Faculty of Engineering, Kagoshima University
	Electrical and Electronics Engineering Program	
	Ocean Civil Engineering Program	
	Chemical Engineering Program	
	Chemistry and Biotechnology Program	
	Architecture and Architectural Engineering Program	
Department of Informatics	Information Science Program	Faculty of Science, Kagoshima University
	Mathematics and Informatics Course	Faculty of Engineering, Kagoshima University
	Biological Cognitive Informatics Course	
	Collaborative Informatics Course	

* The details of the examination places will be posted in the entrance hall of “kyotsutou” of Faculty of Engineering and Faculty of Science on the following date.

first application : Oct.4, 2024, at 14:00.

second application : Feb.14, 2025, at 14:00.

☆ 詳細の問合せ先

・理学専攻

物理・宇宙プログラム	高桑 繁久	takakuwa@sci.kagoshima-u.ac.jp
化学プログラム	岡村 浩昭	okam@sci.kagoshima-u.ac.jp
生物学プログラム	宮本 旬子	jmymt@sci.kagoshima-u.ac.jp
地球科学プログラム	山本 啓司	hyam@sci.kagoshima-u.ac.jp

・工学専攻

機械工学プログラム	駒崎 慎一	komazaki@mech.kagoshima-u.ac.jp
電気電子工学プログラム	福島 誠治	fukushima@eee.kagoshima-u.ac.jp
海洋土木工学プログラム	加古真一郎	kako@oce.kagoshima-u.ac.jp
化学工学プログラム	吉田 昌弘	myoshida@cen.kagoshima-u.ac.jp
化学生命工学プログラム	松本 健司	kmatsumoto@cb.kagoshima-u.ac.jp
建築学プログラム	柴田 晃宏	shibata@aae.kagoshima-u.ac.jp

・情報科学専攻

情報科学プログラム		
数理情報コース	伊藤 稔	itoh@sci.kagoshima-u.ac.jp
認知生体情報コース	大橋 勝文	mohashi@ibe.kagoshima-u.ac.jp
協創情報コース	大橋 勝文	mohashi@ibe.kagoshima-u.ac.jp

9. 合格者発表

第1次募集：令和6年10月21日（月）10時

第2次募集：令和7年3月4日（火）10時

合格者の受験番号を工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、鹿児島大学理工学研究科ホームページ (<https://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。なお、電話等による合否の照会には応じません。

10. 入学手続

(1) 提出書類

(ア) 宣誓書

(イ) 在学保証書

(ウ) 卒業証明書 他

(2) 納付金等（2023年度実績）

入 学 料 282,000円

授 業 料 267,900円（年額 535,800円）

（注1） 国費外国人留学生は入学料，授業料ともに不要です。

（注2） 外国政府派遣留学生等に関して，留学生からの申請があった場合，入学料を免除します。
ただし，外国の政府等から入学料が支給されている場合は適用しません。

（注3） 入学料，授業料の納付が経済的理由により困難で，かつ学業優秀な者，又は風水害の被災

★ **For further inquiry about the examinations**

• **Department of Science**

- | | | |
|---------------------------------|--------------------|--------------------------------|
| • Physics and Astronomy Program | TAKAKUWA Shigehisa | takakuwa@sci.kagoshima-u.ac.jp |
| • Chemistry Program | OKAMURA Hiroaki | okam@sci.kagoshima-u.ac.jp |
| • Biology Program | MIYAMOTO Junko | jmymt@sci.kagoshima-u.ac.jp |
| • Earth Science Program | YAMAMOTO Hiroshi | hyam@sci.kagoshima-u.ac.jp |

• **Department of Engineering**

- | | | |
|--|--------------------|---------------------------------|
| • Mechanical Engineering Program | KOMAZAKI Shin-ichi | komazaki@mech.kagoshima-u.ac.jp |
| • Electrical and Electronics Engineering Program | FUKUSHIMA Seiji | fukushima@eee.kagoshima-u.ac.jp |
| • Ocean Civil Engineering Program | KAKO Shin-ichiro | kako@oce.kagoshima-u.ac.jp |
| • Chemical Engineering Program | YOSHIDA Masahiro | myoshida@cen.kagoshima-u.ac.jp |
| • Chemistry and Biotechnology Program | MATSUMOTO Kenji | kmatsumoto@cb.kagoshima-u.ac.jp |
| • Architecture and Architectural Engineering Program | SHIBATA Akihiro | shibata@aae.kagoshima-u.ac.jp |

• **Department of Informatics**

- | | | |
|---|-----------------|-------------------------------|
| • Information Science Program | | |
| Mathematics and Informatics Course | ITOH Minoru | itoh@sci.kagoshima-u.ac.jp |
| Biological Cognitive Informatics Course | OHASHI Masafumi | mohashi@ibe.kagoshima-u.ac.jp |
| Collaborative Informatics Course | OHASHI Masafumi | mohashi@ibe.kagoshima-u.ac.jp |

9. Notification of Results

- first application : Oct.21, 2024, at 10:00.
second application : Mar.4, 2025, at 10:00.

The identification numbers of successful candidates will be posted in the entrance hall of “Kyotsutou” of the Faculty of Engineering and on the bulletin boards of the Faculty of Science, and also be sent to successful applicants by mail. In addition, the identification numbers of successful candidates will be posted on the Graduate School of Science and Engineering Kagoshima University homepage (<http://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>). Inquiries about the results by other means such as telephone, etc, will not be accepted.

10. Entrance Formalities

(1) Documents to be submitted

- A written oath.
- A guarantee of registration.
- A diploma (graduation certificate), etc.

(2) Payment of fees (2023, fiscal year)

- | | |
|---------------|---|
| Admission fee | : 282,000 yen |
| Tuition | : 267,900 yen per semester (535,800 yen annually) |

Notes:

1. Students supported by the Japanese Government Scholarship are exempted from both admission fee and tuition.
 2. Foreign-government sponsored students who apply for an exemption from the admission fee will be granted an exemption. However, students receiving the admission fee from their government will not be exempted.
 3. There is a financial aid to students by exempting them from either total or half of the admission fee or tuition. Eligibility for the financial aid is based on financial need and academic achievement or sufferings of natural disasters. In case enrollment has been documented to have declined after the completion of admission procedure, the application for suspension of admission fee collection or exemption of admission fee will be null and void and the admission fee will be collected.
 4. If the Payment of fees are revised, then you will have to pay the revised amount.
- (3) The schedule for enrollment procedure and other related items will be enclosed under the same cover of acceptance letter, which is planned to be sent to each successful applicant at the beginning of February, 2025.
- (4) Fees will only be refunded in either of the following two cases:
- Fees were paid but the admission procedure was not completed.
 - Fees were mistakenly paid twice.

等の特別な事情のある者には、選考の上、全額または半額の免除が認められる制度があります。ただし、入学手続後に入学を辞退する場合、入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり、入学料を納入していただくことになります。

(注4) 納付金等改定が行われた場合は、改定時から新料金が適用されます。

(3) 入学手続期間等

入学手続の日時及びその他必要な事項は、2025年2月下旬頃合格者へ通知します。

(4) 既納の入学料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

(ア) 入学料を払込んだが、入学手続をしなかった場合

(イ) 入学料を誤って二重に払込んだ場合

11. 全般的な注意事項

(1) 志願者は、願書提出前に希望する研究指導教員と連絡を取り、教育研究の内容などについて十分相談してください。

鹿児島大学では「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人鹿児島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生や規制対象となる居住者の受入れに際し厳格な審査を行っています。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理に関する Web サイトを参照してください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html>

(2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。

(3) 受理した出願書類等および納入された検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

①「日本留学試験のスコア」にかかる証明書、「日本語能力試験の認定」にかかる証明書又は TOEIC・TOEFL スコア（原本）

返却を希望した場合（59ページ参照）

②検定料（返還額：30,000円から振込手数料を控除した額）

ア. 検定料を払い込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ. 誤って検定料を二重に払込んだ場合

(4) 受験の際は、必ず受験票を持参してください。

試験室、面接室及び面接者控室等の試験会場では、原則、携帯電話、スマートフォン、タブレット端末及びウェアラブル端末等の電子機器類の使用を禁止します。指示があった際は、電子機器類のアラームの設定を解除の上、電源を切ってかばん等にしまってください。

問い合わせ先及び出願書類等提出先

鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号 電話 (099) 285-3057 FAX (099) 285-3410

E-mail: sedaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

11. General Instructions

- (1) Applicants are strongly advised to have close contact with preferred academic advisor at our graduate school and discuss their Master's program before submitting the application documents .

From the perspectives of exporting/transferring goods and providing technologies outside Japan, Kagoshima University has established the "National University of Kagoshima Security Export Control Regulations" in accordance with the "Foreign Exchange and Foreign Trade Act" and has strict rules relating to the admission of international students from countries and organizations that are subject to this legislation.

Please note that if you fall under any of the restricted categories, you may not be admitted to the university or your desired research activities may be restricted.

For more information, please refer to the following website regarding our university's security export control.

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html>

- (2) The contents of submitted documents will not be allowed to change after the documents are accepted.
- (3) We will not return the application documents we have accepted or refund the examination fee delivered for any reason, except in the following cases.
- ① Certificate verifying the score of "Examination for Japanese University Admission for International Students (EJU)" or certificate verifying the qualification of "Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)" or TOEIC or TOEFL score sheet (original)
When the return was requested (See page 60)
 - ② Examination fee (Refund amount: Amount after deducting transfer fee from 30000 yen)
 - a) If you did not file after having paid the examination fee (When the acceptance deadline has ended without your submitting the application documents, or the application documents have not been accepted due to document inadequacy.)
 - b) If you have incorrectly paid the examination fee twice.
- (4) Applicants should bring their own Identification for Examination with them on the date of examination. In principle, the use of electronic devices such as mobile phones, smartphones, tablet terminals and wearable terminals is prohibited in test venues such as test rooms, interview rooms and interviewer waiting rooms. When instructed, cancel the alarm setting of electronic devices, turn off the power, and put it in a bag.

Admissions Office:

Student Affairs Division, Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University
1-21-40 Korimoto, Kagoshima, 890-0065, Japan.

TEL: +81-99-285-3057, FAX: +81-99-285-3410

E-mail: sedaigakuin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

Ⅷ. 大学院理工学研究科 博士前期課程の概要

(令和6年度)

(令和6年4月1日現在)

理学専攻 物理・宇宙プログラム

物理学は自然科学及び科学技術全ての基礎をなす重要な学問分野で、素粒子から物質、生命・宇宙までの非常に広い自然の階層全てを対象とする。本専攻では、自然の基本的かつ普遍的現象を見出し解明する研究に加え、物性研究や宇宙探求の最先端技術とも結びつく研究を行っている。そこでは、次世代技術の基礎を担い実践的に問題を解決していくことができる人材の養成もめざしている。宇宙航空研究開発機構、国立天文台との間で連携大学院をも構成しており、VERA望遠鏡を用いた銀河の研究も進めている。

分野	主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
物理	<p>1) 固体、薄膜、表面等の物理的・化学的性質を第一原理計算より解明し、新機能物質の探索を行っている。2) 力学系の基礎理論を研究し、リズムやカオス、パターン形成等、諸種の非線形現象の解明を目指している。3) 希土類や遷移金属元素の磁性体をはじめとする、各種強相関物質・機能性物質の電氣的・磁氣的・熱力学的研究を行っている。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○ハーフメタル、形状記憶合金、準結晶、合金触媒などの電子構造 ○カオス、非線形物理学 ○磁性化合物の物性研究 ○低温・強磁場下における物性研究</p>	<p>統計力学特論 カオスとフラクタル特論 低温物理学特論 磁性物理学特論 Advanced Magneto-Science 磁気科学特論 固体物理特論 表面物理学特論 超伝導物理学特論</p>	<p>秦 重史 秦 浩起 廣井 政彦 伊藤 昌和 小山 佳一 三井 好古 野澤 和生 ☆ 重田 出</p>
宇宙	<p>天の川銀河や近傍銀河、恒星の誕生、進化、銀河中心核の活動などを、電波・光赤外線望遠鏡を用いた観測、コンピュータシミュレーションによる理論計算によって究明する。天体からユニーク情報を得るため、観測装置開発も行っている。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○VERA望遠鏡・1m光赤外線望遠鏡による(1)天の川銀河の3次元構造と運動の解明、(2)恒星の変光現象の研究、○VERA望遠鏡等を用いた(3)天の川銀河、近傍銀河の星間物質・磁場の構造と運動の研究、(4)恒星の誕生と進化末期段階の研究、○星・惑星系形成の研究、○シミュレーションによる活動銀河中心核の研究 ○光赤外線望遠鏡用観測装置の開発、○FPGAボードによるデジタル電波分光計の開発</p>	<p>銀河電波天文学特論 電波干渉計特論 赤外線天文学特論 Advanced study of Star and Planet Formation 星間物理学特論 現代天文学特論 Advanced study of Observational Astronomy 宇宙環境科学特論 宇宙環境計測特論 宇宙計量科学特論</p>	<p>中西 裕之 今井 裕 永山 貴宏 高桑 繁久 和田 桂一 ☆ 塚本 裕介 新永 浩子 木本 雄吾 ※ 越石 英樹 ※ 郷田 直輝 ※</p>

☆は情報科学専攻の兼務教員
※は客員教員

理学専攻 化学プログラム

化学プログラムでは、化学に関する幅広い分野にわたって活躍できる人材を養成する。研究分野には、物理化学的手法を用いた界面活性剤と生体高分子の相互作用の解析、分光学的手法を用いた光化学の機構の解明及びナノ材料化学の合成に関する研究、動物や植物等の生物由来の生物活性物質の化学的研究、新規合成反応の開拓及び反応系の解明とその利用、タンパク質（特に抗体、酵素、ペプチド）の構造と機能解析及び医薬品やマテリアルとしての応用研究、環境中の有害化学物質の挙動解明研究や新規分析法の開発研究、化学物質の環境中でのふるまいを予測・解明するためのイオンやコロイド粒子の溶媒和状や反応性に関する研究、などである。

分野	主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
分子機能化学	界面活性剤の生体高分子との相互作用や反応機構の解明、それらの複合体の合成と利用、光生命現象や光機能分子の役割、金属ナノ粒子・半導体ナノ粒子の構造と機能についての、分子科学に関する研究を行っている。 [主な研究テーマ] ○分子集合体系での光化学 ○金属ナノ粒子の新規合成法の開発とバイオセンサーへの応用 ○レーザーアブレーションによるコロイド粒子の構造と機能	Advanced Colloid Chemistry 有機金属化学特論	新留 康郎 鬼東 聡明
有機化学	動物や植物等に含まれる二次代謝産物の単離・構造決定ならびにその生物活性の研究、有機合成反応系の機構解明ならびにそれを利用した新規有機化合物の合成に関する研究を行っている。 [主な研究テーマ] ○天然生物活性物質の構造と活性相関 ○立体選択的な有機合成反応の開発	生理活性化合物合成特論 天然物構造機能特論 有機反応特論	岡村 浩昭 濱田 季之 横川 由起子
生化学	タンパク質（特に抗体、酵素、ペプチド）の機能、改変および構造解析などに関する研究を行っている。 [主な研究テーマ] ○タンパク質の構造と機能相関に関する研究 ○抗体やペプチドの新規デザインによる医薬品や機能性素子の開発	タンパク質化学特論 生体機能制御化学特論 酸素有機化学特論	伊東 祐二 有馬 一成 加藤 太一郎 ☆
環境解析	分析化学的立場から、水銀などの元素や有害化学物質の微量分析法を確立し、環境中でのふるまいを明らかにする。特に汚染地域における水銀の挙動を追跡し、生態系への影響についても評価を行う。また、環境中の無機成分の動態や化学的性質が溶存環境にどのような影響を受けるのか予測・解明するため、溶液中におけるイオンやコロイド粒子の溶媒和状や反応性について調べている。 [主な研究テーマ] ○水銀など微量元素の環境挙動の解明 ○微量化学物質の分析法開発 ○イオンの溶媒環に関する熱力学的研究 ○イオン液体中におけるコロイド分散メカニズムに関する研究	環境化学特論 溶液化学特論 微量分析化学特論	富安 卓滋 神崎 亮 児玉谷 仁

☆は情報科学専攻の兼務教員

理学専攻 生物学プログラム

生物学プログラムでは、生物学の知識と技術の両方を併せ持ち、生物学分野で活躍出来る人材を養成する。そのため本プログラムでは、遺伝子レベルから生態レベルまでの幅広い教育と研究を進める。社会の様々な立場で能力を発揮するために、専門知識だけでなく、従来の学問分野の枠を超えた幅広い知識と教養を併せ持ち、柔軟かつ総合的な思考力を備えた人材の養成を目指している。

主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
<p>植物と微生物との共生機構の解明とその農業や環境修復への応用および生物間相互作用における遺伝子発現の調節機構、脊椎動物の神経系の情報処理機構と行動発現の仕組みの解明、慢性モデル動物を用いた予防薬・治療薬の開発、安全・安価な抗不安薬の開発、日本および東アジアや東南アジアの陸上植物の生態・分類・系統学的研究、海産無脊椎動物の系統分類と、共生・寄生生態に関する研究、水中や陸上の軟体動物の分類・生態の研究などが行われている。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○窒素固定共生系における微生物と宿主植物の相互作用 ○動物を用いた新規抗不安薬の探索 ○海産無脊椎動物を使った細胞学、発生学 ○多細胞細菌の器官分化に関する研究 ○魚類の摂餌行動解発に関わる神経機構 ○植物の生活史や個体群動態 ○地域の植物相 ○野生植物の形態的遺伝的多様性 ○植物の多種共存機構○共生・寄生生物の系統分類学 ○亜熱帯-熱帯海域ホットスポットにおける海産無脊椎動物の種多様性 ○軟体動物の生態学</p>	<p>ゲノム情報学特論 Advanced Neuroethology 行動進化学特論 Advanced Phylogenetic Botany 動物分類学特論 分子発生学特論 植物分類学特論</p>	<p>九町 健一 池永 隆徳 富山 清升 宮本 旬子 上野 大輔 小沼 健 田金 秀一郎</p>

理学専攻 地球科学プログラム

地球科学プログラムでは、自然環境の実態やその変動の基礎的なメカニズムを理解するため、地質学および固体地球物理学分野からの研究・教育を進めている。社会の様々な立場でその能力を発揮するため、個別課題に対する高度な専門知識を持ち、柔軟かつ総合的な思考力を備えた人材の育成を目指している。

主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
<p>地形・地質学的手法による地質発達構造史の研究、粘土鉱物の生成と変化及び反応性に関する研究、斜面災害や地震・火山災害など防災に関する研究、岩石の形成や物理及び化学的变化に関する研究、プレート運動による地殻活動と火山噴火現象および噴火史などの調査研究が行われている。</p> <p>地震火山地域防災センター附属南西島弧地震火山観測所、共通教育センターと協力し地震・火山研究を推進している。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○地史・地質構造発達 ○粘土鉱物の生成と変化 ○地質環境と防災 ○岩石の形成と変化 ○九州南西諸島域のテクトニクス ○火山地質 ○地震および火山活動 ○プレート変動</p>	<p>環境鉱物学特論 災害地質学特論 地球テクトニクス特論 測地学特論 Earthquake Source Process 観測火山学特論 Geochemical Processes on Earth 火山地質学特論</p>	<p>河野 元治 井村 隆介 山本 啓司 中尾 茂 ☆ 小林 励司 八木原 寛 礼満ハフィーズ 嶋野 岳人</p>

☆は情報科学専攻の兼務教員

工学専攻 機械工学プログラム

機械工学プログラムで取り扱う教育研究の範囲は、材料の物性と強度、構造物設計、機器の設計と制御、生産加工、熱・流体が関与する諸現象、エネルギー利用技術、各種工学現象の解明や機械設計への計算機利用技術ならびに各種システム構成技術等である。本プログラムでは学部教育課程での機械工学基礎教育を踏まえ、機械技術の高度化と先端化を追求するために必要な知識を積極的に取り入れて応用することのできるエンジニアの育成を目指している。また、本プログラムでは上記の広範囲にわたる機械工学領域の教育研究を3つのコースで分担実施している。

分野	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
生産工学	<p>鉄鋼材料、非鉄材料、セラミック材料、複合材料、電子材料その他新素材の開発に加え、それら材料の強度や特性の計測と評価、特性発現機構の理解、種々の環境が強度や特性に与える影響の評価と理解、数値計算方法の開発のための研究として、材料熱力学、材料組織学、結晶学、材料強度学、環境強度学、計算力学、固体力学、破壊力学、塑性加工学など、生産工学に関する幅広い領域の教育研究を行っている。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○ 界面破壊力学 ○ 電子実装部の信頼性評価 ○ 構造材料の余寿命診断技術の開発 ○ 金属・セラミック・複合材料の開発と特性評価 ○ 電子実装学 ○ 原子力材料の照射効果 ○ 結晶性材料の力学的性質</p>	<p>固体力学特論 機械材料学特論 高エネルギー材料工学特論 計算力学特論 結晶強度物性特論</p>	<p>池田 徹 駒崎 慎一 佐藤 紘一 小金丸 正明 定松 直</p>
エネルギー工学	<p>バイオ燃料のディーゼルエンジンにおける燃焼、工業機器における超音速流れの解析と小型ハイブリッドロケットの開発、マイクロチャンネルを流れるガスの流動及び熱伝達特性の解明とその工業応用、流れの数値計算とその計測・設計への応用、マイクロチャンネル内を流動する気液二相流の流動特性の解明などに関する教育研究を行っている。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○ディーゼル機関およびバーナ機器におけるバイオ燃料の利用 ○ 超音速ノズルの開発と小型ハイブリッドロケットの開発 ○ マイクロチャンネルガス流の流動および熱伝達特性 ○ 管路内流れの状態推定と旋回流を利用した非接触搬送装置の設計 ○ マイクロチャンネル内気液二相流の流動特性</p>	<p>熱機関工学特論 数値熱流体工学特論 伝熱工学特論 流体工学特論 流動工学特論</p>	<p>木下 英二 片野田 洋 洪 定杓 中尾 光博 大高 武士</p>
機械システム工学	<p>自励振動現象の発生メカニズムと防止対策・有効利用、効率的な製造を支える材料の精密加工と加工機械の知能化、塑性加工とトライボロジー、高機能機械システムを設計・制御するための理論の発展と新しい技術の開発等の研究を行っている。また、コンピュータを利用した計測制御、応用システム工学、自律移動ロボットの知能化技術、非線形システム制御の研究を行っている。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○ボーリング加工における穴多角形化の防止対策 ○ エンドミル加工における振動低減と加工計測制御 ○ 機械システムへの制御理論の応用 ○ ロボットの知的マニピュレーション ○ 金属加工の変形機構とトライボロジー ○ 非線形制御理論とその応用展開 ○ ロボット・IoT 社会浸透のための実世界モデリング</p>	<p>トライボロジー特論 機械力学特論 計測制御工学特論 システム制御特論</p>	<p>上谷 俊平 * 松崎 健一郎 熊澤 典良 西村 悠樹 ☆</p>

* 2025年3月に退職予定の教員
☆ は情報科学専攻の兼務教員

工学専攻 電気電子工学プログラム

高度情報社会における科学技術の特徴は、新素材、超 LSI、コンピュータなど、先端技術に見られる個別技術のハイテク化と、これらを結合したシステム化である。特に、新しいコンセプトに基づく新素材、デバイスの開発などを目指す電子物性デバイス工学、新しい電気エネルギー源や、電気エネルギーのシステマ的利用を図る電気エネルギー工学、通信・情報・電子計算機などを統合した通信システム工学等の技術は、情報化社会を支える基盤技術であり、現代社会のあらゆるところで活用される。このような現代の電気電子系の技術の体系に呼応して、本プログラムは、次のような分野を持つ3つのコースワークに分かれて、教育研究を実施している。

分野	主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
電子物性デバイス工学	<p>高度情報化社会を支援している電子デバイスには多種多様なものがある。これらの電子デバイスの動作原理を研究するとともに、デバイスの高性能化に不可欠な電子材料の設計、作製プロセスなどの研究を行う。主に、高温超伝導体や酸化物の薄膜を用いた素子、ディスプレイ用の透明導電膜、光で充電できる電池の研究を行う。また、光電子分光などを用いた物性評価、プラズマプロセス、レーザー蒸着法や気相成長法などの作製プロセスの研究を行う。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○超伝導デバイス ○液晶ディスプレイ用透明導電膜 ○高効率太陽光発電デバイス ○熱電変換デバイス ○光蓄電池 ○レーザー蒸着による機能性酸化物薄膜の作製と評価 ○光電子分光による電子構造評価 ○プラズマプロセス技術 ○先進気相成長技術</p>	<p>機器分析特論 薄膜工学特論 固体物性特論 結晶成長工学 材料電気化学特論</p>	<p>堀江 雄二 青野 祐美 奥田 哲治 前島 圭剛 野見山 輝明 真中 浩貴</p>
電気エネルギー工学	<p>システム制御理論とその電力系統制御への応用、並びに電気エネルギー変換装置としての DC-DC コンバータにおける雑音低減化に関する研究を行う。また、電気機器・パワーエレクトロニクス及び電動機ドライブの分野における高性能化・高信頼性化・インテリジェント化・小型化に関して解析と実験の両面よりの研究を行う。更に、高品質・高信頼性が要求される電力システムについて、超伝導技術を応用して格段の性能向上を図る研究や、信頼性向上のための配電設備劣化診断法の開発研究を行う。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○電力系統の制御と同定・予測に関する研究 ○双方向 DC-DC コンバータの制御に関する研究 ○永久磁石同期電動機の位置センサレスドライブに関する研究 ○高効率モータ開発のための磁気計測法に関する研究 ○超伝導電力機器や核融合装置用超伝導コイルの研究 ○配電設備の劣化診断や負荷管理に関する研究</p>	<p>動的システム工学特論 デジタル制御システム特論 パワーエレクトロニクス特論 電磁エネルギー工学特論 電気エネルギーシステム特論 超伝導工学特論</p>	<p>八野 知博 田中 哲郎 ** 山本 吉朗 甲斐 祐一郎 川畑 秋馬 川越 明史 篠原 篤志</p>
通信システム工学	<p>情報通信ネットワーク社会を支える電子回路・LSI・コンピュータ・無線通信・電波工学・高周波工学等の教育研究を行う。特に、宇宙通信技術、宇宙エレクトロニクス技術、無線電力伝送技術、小型携帯端末用アンテナ、光ファイバ通信技術、超高周波回路技術、柔軟な情報処理によるシステムの知能化、センサネットワークなどに関する研究を行う。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○超高速通信用極低電力 AD/DA 変換 LSI 技術 ○無線電力伝送技術 ○マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ帯高集積回路設計技術 ○光・高周波融合技術および光信号処理技術 ○IoTと機械学習を活用したシステム構築 ○無線センサネットワークの通信方式と応用 ○フォトニックネットワークシステム構成技術</p>	<p>通信用 LSI 工学特論 デジタル通信システム特論 Photonic communication technology マイクロ波工学特論</p>	<p>大畠 賢一 ** 渡邊 俊夫 福島 誠治 西川 健二郎 ☆ 永山 務 ☆</p>

**2026年3月に退職予定の教員
☆は情報科学専攻の兼務教員

工学専攻 海洋土木工学プログラム

海洋土木工学プログラムで取り扱う教育・研究の範囲は、土木工学及び海洋学に関わる諸問題を対象としている。したがって、海洋土木工学プログラムでは、海洋土木工学に関する知識をさらに深めるとともに、持続可能な国土づくりに貢献できるエンジニアの育成を目指している。

海洋土木工学プログラムでは、海洋学（環境システム工学）と土木工学（建設システム工学）の2分野にまたがる海洋土木工学の基礎を広く理解したうえで、1つ以上の分野に秀でた学生を育てるための教育・研究体制を整えている。各分野の主な教育研究内容、授業科目等は次のようになっている。

分野	主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
海洋学 (環境システム工学)	沿岸域・海洋域での物理現象の解明、利用と開発、環境の保全、防災に重点をおいた研究教育を行っている。 [主な研究テーマ] ○東シナ海における大気海洋相互作用 ○海洋プラスチック汚染問題 ○浅海域における波浪変形の数値解析 ○沿岸域・沿岸域の環境問題 ○表面波・内部波の力学 ○津波・高潮に対する沿岸域の防災 ○津波の遡上解析 ○構造物に作用する津波波圧の特性 ○津波による構造物群の破壊過程 ○火山砕屑物による港湾埋没現象 ○沿岸域における富栄養化問題 ○沿岸域における凝集性懸濁物質動態 ○流域水循環と河川防災	海岸防災特論 海洋物理環境学特論 環境水理学特論 土砂水理学特論	柿沼 太郎 ☆ 安達 貴浩 ☆ 齋田 倫範 ☆ 加古 真一郎 ☆ 日高 弥子 ☆ 長山 昭夫 ☆ 下迫 健一郎 ※
土木工学 (建設システム工学)	沿岸域・海洋域での土木構造物・海洋構造物の建設のための「ものづくり」(設計, 施工, 補修)に重点をおいた研究教育を行っている。 [主な研究テーマ] ○土木構造物の動的応答解析と信頼性評価 ○地盤-基礎系の動的相互作用 ○鉄筋コンクリート構造の力学特性 ○合成構造の力学特性 ○新材料の開発利用 ○土木構造物の耐久設計と維持管理 ○土木構造物の劣化に及ぼす環境外力の評価 ○社会基盤のアセットマネジメント ○点検診断技術の高度化 ○鋼の腐食・防食 ○地盤材料の構成式 ○軟弱地盤の変形・破壊の予測 ○不飽和土質力学の体系化 ○土砂災害の発生機構と危険度予測	Advanced Concrete Technology 維持管理工学 構造力学特論 コンクリート構造特論 地盤環境工学特論 土質力学特論	山口 明伸 ☆ 審良 善和 ☆ 木村 至伸 ☆ 酒匂 一成 ☆ 田上 聖人 ☆ 川上 隆 ☆

☆は情報科学専攻の兼務教員
※は客員教員

工学専攻 化学工学プログラム

化学工学プログラムでは、人間社会と自然環境と科学技術の調和と持続可能性を希求しつつ、国際的な視野から新しい科学技術・産業構造を提案し、地域並びに世界に発信できる高度専門職業人を育成することを教育理念としている。教育目標を具現化するため、反応・分離・エネルギー伝達と変換・資源循環機能材料プロセッシング等の各種プロセス、およびこれら要素プロセスを集合する高度なシステム工学を体系的に学ぶことができる教育・研究体制を整えている。

分野	主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
化学工学	<p>「環境と調和した化学プロセスの開発」、「エネルギーなどの資源を有効利用するシステムの構築」及び「高度な機能をもつ材料の創製」の分野で将来活躍できる研究者・技術者の育成を目指す。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○超音波を応用した優れた分離技術の開発 ○高機能性を付与した高分子微粒子に関する研究 ○バイオマテリアル開発 ○エネルギー・物質変換デバイスに関する研究 ○固体酸化物形燃料電池材料に関する研究 ○熱マネジメント技術によるカーボンニュートラル推進に関する研究 ○ファインバブルの基盤技術開発と産業利用検討</p>	<p>分離工学特論 機能性材料工学特論 生物化学工学特論 デバイス設計特論 セラミックス工学特論 移動現象特論</p>	<p>二井 晋 吉田 昌弘 武井 孝行 ☆ 田巻 孝敬 鮫島 宗一郎 水田 敬 五島 崇</p>

☆は情報科学専攻の兼務教員

工学専攻 化学生命工学プログラム

化学生命工学プログラムでは、人間社会と自然環境と科学技術の調和を希求しつつ、国際的な視野から新しい科学技術・産業構造を提案し、地域並びに世界に発信できる高度専門職業人を育成することを教育の理念としている。この理念を受けて「化学の言葉で生体の仕組みや機能を理解しながら、地球環境との調和と人類社会の持続的発展に寄与する物質・材料の創製と評価を担え、世界に発信できる能力を持つ人材の育成」を目的として、「生命現象に関わる化学を学び、新物質や機能材料、バイオテクノロジー、分析や化学計測、医薬や医用材料、環境保全やエネルギーなどの研究や技術開発」に関する知識を体系的に学ぶことができる教育・研究体制を整えている。

主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
<p>有用物質の創造、表面観察技術の開発、マイクロリアクターの開発、環境保全技術の開発、などに優れた想像力・開発能力を養い、また創薬や疾病の診断治療、持続的社會を構築するバイオベースマテリアルなどを新たに生み出す開発力を養い、習得した知識や手法に基づいた発想や成果を、世界に発信できる能力を持つ人材の育成を目指す。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生体機能発現分子の構造活性相関研究 ○多糖の材料化・機能化 ○遺伝子工学によるバイオ医薬品の創製 ○新規薬剤候補の in silico 創製 ○新たな理論化学手法の開発と実在分子系への応用 ○光と物質の相互作用の解明とそれを元にした新規な化学計測法の開発 ○分子集合体化学 ○環境中に放出される微量有害物質の分析・生体影響評価 ○環境質量分析化学 ○有機無機複合材料の創製 ○機能性高分子材料の創製 ○生体高分子中の生物活性構造の探索とその機能材料化 ○光を使った化学センサーの開発 ○新規生体機能分子の創製と応用 ○環境調和型有機合成反応の開発 ○新規免疫賦活性ナノ材料の創製 	<p>高分子材料精密合成特論 生体高分子化学 理論分子科学特論 有機合成化学特論 分光分析特論 人工知能計算科学 生体環境リスク基礎特論 環境分析化学特論 有機無機複合材料化学特論 生物有機材料化学</p>	<p>門川 淳一 橋本 雅仁 石川 岳志 ☆ 松本 健司 吉留 俊史 上田 岳彦 ☆ 高梨 啓和 中島 常憲 金子 芳郎 出口 友則 ※ 橋口 周平 満塩 勝 若尾 雅広 新地 浩之 戸谷 匡康</p>

☆は情報科学専攻の兼務教員
※は客員教員

工学専攻 建築学プログラム

建築学プログラムでは、人類の建築文化と技術を継承し、地域環境の保全に配慮しながら、現代の科学技術を総合的に活用して建築空間と生活環境の創造・維持に貢献できる専門的職業人・研究者の養成を教育の理念としており、建築設計と環境設計、構造設計の3分野を中心とした教育を行っている。

■ 3分野の実践的な科目群について

建築学プログラムの教育面の長は、建築実務と密接に関連した、建築設計・環境設計・構造設計の3分野の実践的な科目群がカリキュラム化されていることである。

建築設計分野では、建築設計と都市設計に関する実践的能力の育成を目標としており、実践的な課題を用いた設計演習を通して、建築の設計および都市や地域の設計に関する多角的で実践的な能力を養う。また設計演習と連携した講義では、建築の設計及び都市計画やまちづくりの計画作成に必要な視点と技術や技法に関する幅広い知識を修得する。

環境設計分野では、建築物の環境性能を総合的に評価する能力の育成を目標としている。現実的な課題を用いた設計演習を通して、建築物の室内外環境、サービス性能、エネルギー、資源やマテリアルなどの視点から環境性能を多面的に評価し、建築物の総合環境性能評価を実践する能力を養う。また演習課題と連携した講義では、総合環境性能評価に必要な知識や技術を習得する。

構造設計分野では、建築物の構造設計に関する実践的能力の育成を目標としている。現実的な課題を用いた設計演習を通して、構造計画、応力解析や変形解析、各種構造や基礎構造の設計に関する能力を養う。また演習課題と連携した講義では、構造設計に必要な知識・技術を修得する。

■ 建築設計実務経験プログラムについて

2020年の建築士法改正により、建築士試験受験時の要件であった実務経験が免許登録要件となった。建築学プログラムでは、計画・構造・環境の各専門領域に関する建築設計実務経験プログラムを設置しており、修得単位に応じて一級建築士の免許登録要件となる実務経験年数（最大2年）が認められる。

分野	主な教育研究内容	主な授業科目	教員氏名
建築設計	教育文化施設や複合施設の建築計画、保存再生、集合住宅等の地域計画、都市景観と都市整備、空間デザインと建築意匠等に関する研究教育と、建築設計に関する実践的な教育を行う。 [主な研究テーマ] ○設計論 ○都市論 ○都市景観 ○複合施設計画 ○建築論 ○空間設計法 ○住文化と住宅計画 ○都市計画 ○地域計画 ○居住地のマネジメント ○保存再生 ○建築史	地域環境史特論 建築デザイン特論 居住地計画特論 建築空間特論 建築設計Ⅰ	木方 十根 増留 麻紀子 小山 雄資 細海 拓也 柴田 晃宏 ☆
環境設計	温熱や光に関する居住環境、空気質に関する室内環境、建築設備に関する研究教育と、環境設計に関する実践的な教育を行う。 [主な研究テーマ] ○居住空間の温熱・空気・光環境の解析と評価 ○居住環境の調整法 ○自然エネルギーの建築物への適用技術 ○地域の熱環境の解析と評価 ○ライフサイクルアセスメント	熱環境特論 環境設計特論 環境建築設計特論	二宮 秀與 曾我 和弘 鷹野 敦
構造設計	構造力学、荷重評価、構造性能評価、構造最適化、地震動の特性と地震災害、建築材料の材料工学や構法に関する研究教育と、構造設計に関する実践的な教育を行う。 [主な研究テーマ] ○大スパン構造の設計 ○構造形態の創生 ○構造物の動的安定評価 ○フレッシュコンクリートの施工性能 ○高性能鉄筋コンクリート構造 ○建築構造物の性能設計・最適設計 ○建築物の地震応答性状と耐震安全性 ○木質ハイブリッドラーメン構造の開発 ○建築構造物の耐震性能評価	構造設計特論Ⅰ 建築材料学特論 連続体の力学 構造設計特論Ⅱ 建築構造解析特論 構造設計特論Ⅱ	倉富 洋 黒川 善幸 横須賀 洋平 ☆

☆は情報科学専攻の兼務教員

情報科学専攻 情報科学プログラム（数理情報コース）

数学の基本構造とその解析はもとより、広く理系、文系の諸科学との交流により多様化をみせている数理科学及びその関連分野、さらに情報科学・計算機科学の理論的な基礎などの教育研究を行う。数学の基礎理論を深く理解するとともに、数理科学の発展に意味を与えている自然や社会の諸現象の数理的解析と計算機理論にも理解を持ち、かつ応用力のある人材の養成を図る。

主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
<p>数学は自然科学の発展とそれがもたらす科学技術の進歩に不可欠な理論的基礎を与えている。また、情報科学は近年の計算機の著しい発展に伴い、急速な進化を遂げつつある。</p> <p>数理情報科学分野では、数学の理論的体系に関する教育研究を行い代数学、解析学、幾何学における数学構造の本質を追及すると同時に、自然と社会に現れる諸現象の解析を視野に含め、数理科学の理論的側面と応用、情報科学の数学的理論と応用に関する教育研究を行う。</p> <p>[主な研究テーマ]</p> <p>○微分幾何学 ○複素解析学 ○複素多様体論 ○位相幾何学 ○表現論 ○確率論 ○離散群論 ○理論計算科学 ○統計科学</p>	<p>幾何学特論 複素解析学特論 複素数代数幾何学特論 Advanced Topics in Topology 表現論特論 解析学特論 離散群論特論 情報意味論特論 データサイエンス特論</p>	<p>愛甲 正 ※ 小櫃 邦夫 村上 雅亮 與倉 昭治 ※ 伊藤 稔 松本 詔 近藤 剛史 古澤 仁 吉田 拓真</p>

※は客員教員

情報科学専攻 情報科学プログラム（認知生体情報コース）

認知生体情報コースでは、脳認知工学、生体計測工学に関する高度な専門教育と研究活動を実施している。根幹となるヒトの認知過程や生体システムの本質を理解し、人類のより豊かな生活の創造に貢献できる人材の育成を目指している。本コースでは、脳認知工学および生体計測工学について、下記の表の様に多様な科目を開講している。本コースの学生は、これらの科目を計画的に履修することにより、自分の専門分野に関する専門性の高い知識と、関連する周辺分野に関する幅広い知識を身につけることができる。

主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
<p>本コースでは、右記の主な授業科目に示すように脳認知工学・生体計測工学の分野に関する教育と、以下のような研究テーマの特別研究やゼミナールを通して情報科学・生体情報工学に関する専門性の高い技術者や研究者の養成を目指しています。</p> <p>○人間の視覚情報処理とヒューマンインタフェースに関する研究 ○神経細胞による視覚情報の符号化様式の研究 ○ヒトの動的視覚情報の処理特性に関する研究 ○水晶振動子を用いたセンサに関する研究 ○生体磁気刺激に関する研究 ○脳の視覚的認知機能に関する研究 ○視覚系・非視覚系経路のメカニズムの解明 ○生体運動制御メカニズムに関する研究 ○人間の聴覚情報処理に関する研究 ○脳の認知に関わる神経生理学的研究及び心理物理学的研究 ○ユニバーサルデザインを実現するための音に関する研究</p>	<p>生体情報システム特論 複雑系生体情報システム特論 神経情報科学特論 認知情報科学特論 生体データ解析特論 生体運動制御特論</p>	<p>王 鋼 吉本 稔 岡村 純也 山下 和香代 西村 方孝 塗木 淳夫</p>

情報科学専攻 情報科学プログラム（協創情報コース）

協創情報コースでは、ソフトウェア工学、情報システム工学に関する高度な専門教育と研究活動を実施している。根幹となる情報工学の知識を修得し、その本質を理解し、人類のより豊かな生活の創造に貢献できる人材の育成を目指している。本コースでは、ソフトウェア工学、情報システム工学について、下記の表の様に多様な科目を開講している。本コースの学生は、これらの科目を計画的に履修することにより、自分の専門分野に関する専門性の高い知識と、関連する周辺分野に関する幅広い知識を身につけることができる。

主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
<p>本コースでは、右記の主な授業科目に示すようにソフトウェア工学・情報システム工学の分野に関する教育と、以下のような研究テーマの特別研究やゼミナールを通して情報科学・情報工学に関する専門性の高い技術者や研究者の養成を目指しています。</p> <p>○分子コンピュータの研究 ○超伝導のシミュレーション ○連続状態空間における強化学習 ○有限要素法及び境界要素法による電磁場解析 ○人工知能およびその応用に関する研究 ○深層ニューラルネットワークを含む機械学習およびその応用に関する研究 ○画像処理およびその応用に関する研究 ○生体高分子の構造と機能に関する研究 ○電波及び光による広帯域無線通信方式に関する研究 ○情報通信ネットワークの研究 ○パターン認識・知能システムに関する研究 ○フィールド・ロボティクス ○リモートセンシング</p>	<p>計測システム特論 並列処理システム特論 通信信号処理特論 人工知能特論 計算科学特論 知覚情報処理特論 知能ロボット工学特論 知能情報学特論 情報システム工学特論 ソフトウェア工学特論 情報ネットワーク特論</p>	<p>大橋 勝文 重井 徳貴 松元 隆博 小野 智司 加藤 龍蔵 福元 伸也 鹿嶋 雅之 高橋 哲朗 大平 康旦 淵田 孝康 升屋 正人</p>

IX. 令和6年度 入学者選抜に関する入試状況

総 括

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	64	11	11	10	9
	物理・宇宙プログラム		23	23	23	21
	化学プログラム		27	27	27	23
	生物学プログラム		12	12	12	9
	地球科学プログラム		9	9	9	9
	小 計		82	82	81	71
工学専攻	機械工学プログラム	237	67	65	58	52
	電気電子工学プログラム		40	38	38	33
	海洋土木工学プログラム		17	17	17	15
	化学工学プログラム		26	26	22	22
	化学生命工学プログラム		38	36	35	31
	情報・生体工学プログラム		41	40	38	35
	建築学プログラム		41	39	35	33
	小 計		270	261	243	221
合 計	301	352	343	324	292	

一般選抜（口述試験）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	15	7	7	7	6
	物理・宇宙プログラム		16	16	16	15
	化学プログラム		11	11	11	8
	生物学プログラム		5	5	5	3
	地球科学プログラム		1	1	1	1
	小 計		40	40	40	33
工学専攻	機械工学プログラム	50	15	15	12	10
	電気電子工学プログラム		25	25	25	21
	海洋土木工学プログラム		3	3	3	2
	化学工学プログラム		4	4	3	3
	化学生命工学プログラム		19	19	18	14
	情報・生体工学プログラム		19	19	19	16
	建築学プログラム		6	6	5	5
	小 計		91	91	85	71
合 計	65	131	131	125	104	

一般選抜（筆答試験）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	15	1	1	0	
	物理・宇宙プログラム		2	2	2	1
	化学プログラム					
	生物学プログラム		3	3	3	3
	地球科学プログラム		2	2	2	2
	小 計		8	8	7	6
工学専攻	機械工学プログラム	50	20	18	14	12
	電気電子工学プログラム		6	4	4	3
	海洋土木工学プログラム		1	1	1	1
	化学工学プログラム		6	6	3	3
	化学生命工学プログラム		7	6	6	6
	情報・生体工学プログラム		5	5	4	4
	建築学プログラム		10	8	8	7
	小 計		55	48	40	36
合 計	65	63	56	47	42	

推薦特別選抜

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	30	2	2	2	2
	物理・宇宙プログラム		5	5	5	5
	化学プログラム		14	14	14	14
	生物学プログラム		2	2	2	2
	地球科学プログラム		5	5	5	5
	小計		28	28	28	28
工学専攻	機械工学プログラム	120	29	29	29	29
	電気電子工学プログラム		9	9	9	9
	海洋土木工学プログラム		8	8	8	7
	化学工学プログラム		14	14	14	14
	化学生命工学プログラム		11	10	10	10
	情報・生体工学プログラム		11	11	11	11
	建築学プログラム		20	20	19	19
	小計		102	101	100	99
合計	150	130	129	128	127	

他分野入学志願者特別選抜

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	4				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム		1	1	1	1
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
	小計		1	1	1	1
工学専攻	機械工学プログラム	17				
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム		1	1	1	1
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム		1	1	1	1
	建築学プログラム					
	小計		2	2	2	2
合計	21	3	3	3	3	

社会人特別選抜（1次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	若干人				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
	小計		0			
工学専攻	機械工学プログラム	若干人				
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム					
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム					
	建築学プログラム					
	小計		0			
合計		0				

外国人留学生特別選抜（1次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	若干人				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム		1	1	1	0
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
	小計		1	1	1	0
工学専攻	機械工学プログラム	若干人	1	1	1	0
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム		1	1	1	1
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム					
	建築学プログラム		1	1	0	
	小計		3	3	2	1
合計			4	4	3	1

一般選抜（2次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	15	1	1	1	1
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム					
	生物学プログラム		2	2	2	1
	地球科学プログラム					
	小計		3	3	3	2
工学専攻	機械工学プログラム	30	2	2	2	1
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム					
	化学工学プログラム		2	2	2	2
	化学生命工学プログラム		1	1	1	1
	情報・生体工学プログラム		2	1	1	1
	建築学プログラム		2	2	2	2
	小計		9	8	8	7
合計		45	12	11	11	9

社会人特別選抜（2次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	若干人				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
	小計		0			
工学専攻	機械工学プログラム	若干人				
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム					
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム					
	建築学プログラム					
	小計		0			
合計			0			

外国人留学生特別選抜（2次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	若干人				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
	小計		0			
工学専攻	機械工学プログラム	若干人				
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム		1	1	1	1
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム		1	1	0	
	建築学プログラム		2	2	1	0
	小計		4	4	2	1
合計			4	4	2	1

一般選抜（3次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	若干人				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム					
	小計		0			
工学専攻	機械工学プログラム	若干人				
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム					
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム		1	1	1	1
	建築学プログラム					
	小計		1	1	1	1
合計			1	1	1	1

外国人留学生特別選抜（3次）

専攻等名		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
理学専攻	数理情報科学プログラム	若干人				
	物理・宇宙プログラム					
	化学プログラム					
	生物学プログラム					
	地球科学プログラム		1	1	1	1
	小計		1	1	1	1
工学専攻	機械工学プログラム	若干人				
	電気電子工学プログラム					
	海洋土木工学プログラム		2	2	2	2
	化学工学プログラム					
	化学生命工学プログラム					
	情報・生体工学プログラム		1	1	1	1
	建築学プログラム					
	小計		3	3	3	3
合計			4	4	4	4

入学志願関係様式

APPLICATION FOR ADMISSION (MASTER'S COURSE)

一般選抜，他分野入学志願者特別選抜，社会人特別選抜共通

別紙様式 1 - 1 入学志願票・受験票・写真票

別紙様式 1 - 2 履歴書

一般選抜，社会人特別選抜共通

別紙様式 2 入学試験出願資格認定審査調書

一般選抜用

別紙様式 3 志望理由書／研究計画書

別紙様式 4 事前審査申請書（学部3年次生を対象とする選抜の事前審査用）

別紙様式 5 推薦書（学部3年次生を対象とする選抜の事前審査用）

推薦特別選抜用

別紙様式 6 推薦書

別紙様式 7 志望理由書

他分野入学志願者特別選抜用

別紙様式 8 事前審査申請書

別紙様式 9 推薦書

別紙様式 10 志望理由書

社会人特別選抜用

別紙様式 11 受験承諾書

別紙様式 12 研究（希望）計画書

別紙様式 13 - 1 業績（業務）報告書No. 1

別紙様式 13 - 2 業績（業務）報告書No. 2

外国人留学生特別選抜用（FOR INTERNATIONAL STUDENT）

別紙様式 14 - 1 入学志願票・受験票・写真票

(Form 14-1 Application for Admission, Identification for Examination and Photograph Sheet.)

別紙様式 14 - 2 履歴書（学歴）

(Form 14-2 Educational Background)

別紙様式 14 - 3 履歴書（職歴）

(Form 14-3 Employment Record)

別紙様式 15 - 1 入学試験出願資格認定審査調書 個人票

(Form 15-1 Summary of academic and professional activities for international students Personal Details)

別紙様式 15 - 2 入学試験出願資格認定審査調書 学歴

(Form 15-2 Summary of academic and professional activities for international students Educational Background)

別紙様式 15 - 3 入学試験出願資格認定審査調書 職歴

(Form 15-3 Summary of academic and professional activities for international students Professional Career)

別紙様式 15 - 4 入学試験出願資格認定審査調書（過去の職歴内容及び社会における活動）

(Form 15-4 Summary of academic and professional activities for international students Past Professional Experience and Activities, if any)

記載された個人情報については、入学者選抜・合格者発表・追跡調査及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導等の事項，授業料免除，奨学金の審査，授業料の債権管理を行うためのみ利用し，他の目的には使用しません。

The information you enter here will not be used for any purpose other than examination screening, announcement to successful applicants, inquiry tracking and related matters, and administrative matters after admission, such as school register, control of academic records, academic advisory, tuition exemption, examination for scholarship, etc. and tuition fees credit management.

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

入 学 志 願 票



選 抜 区 分	<input type="checkbox"/> 一次 <input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 推薦特別選抜 <input type="checkbox"/> 他分野入学志願者特別選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜		受 験 番 号	
	<input type="checkbox"/> 二次 （該当する項目に✓点をつけてください。）		※	
志望専攻・プログラム・コース	専 攻		プログラム	
	コース（コース名は、情報科学専攻の志願者のみ）			
フリガナ			性 別	男 ・ 女
氏 名				
英 語 氏 名				
生 年 月 日	昭和・平成	年	月	日
学部学籍番号	（本学の学生のみ）			
一貫教育課程の学生 （推薦特別選抜志願者のみ）	出願時において以下に該当する受験生のみ、レ点をつけてください。 <input type="checkbox"/> 本学理学部の「理数教育プロジェクトコース学生」 <input type="checkbox"/> 本学工学部の「学士・修士一貫教育学生」			
出身大学等	大学	学部	学科	
	（該当事項の番号 を○で囲み、必 要事項を記入）	1. 卒業（令和・平成・昭和 年 月）	2. 卒業見込（令和 年 月）	
希望指導教員				
勤務先等の住所 （社会人特別選抜志願者のみ）	勤務先等名	住所 〒	電 話	F A X
現 住 所	〒	住所	電 話	携帯電話
		E-Mail		
上記以外の連絡先 （実家等）	〒	住所	電 話	氏 名 携帯電話

〔記入上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 記入はペン又はボールペンを用い、楷書で記入してください。
- 出願後に現住所等を変更した場合は速やかに届け出てください。

受 験 票

切り取って提出してください。→

選抜区分	<input type="checkbox"/> 一次 <input type="checkbox"/> 二次 (該当する項目に✓点をつけてください。)	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 推薦特別選抜 <input type="checkbox"/> 他分野入学志願者特別選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜
受験番号	※	
志望専攻・プログラム・コース	専攻 プログラム コース	
フリガナ 氏 名 生年月日	昭和・平成 年 月 日	

写 真 票

写真を貼付の上、
切り取って提出してください。→

選抜区分	<input type="checkbox"/> 一次 <input type="checkbox"/> 二次 (該当する項目に✓点をつけてください。)	<input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 推薦特別選抜 <input type="checkbox"/> 他分野入学志願者特別選抜 <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜
受験番号	※	
志望専攻・プログラム・コース	専攻 プログラム コース	
フリガナ 氏 名 生年月日	昭和・平成 年 月 日	
写真貼付欄 (4 cm×3 cm) 上半身脱帽正面向 3か月以内に撮影 したもの		

受験 番号	※	
----------	---	--

履 歴 書

志望専攻 プログラム コース	専攻 プログラム コース	氏 名	
	年 月	事	項
学 歴 (高等学校卒業から 記入してください。 なお、大学等で研 究生等として在学 していた場合には、 その期間も記入し てください。)	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職 歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
資 格	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
賞 罰	年 月		
	年 月		

〔記入上の注意〕

1. 履歴事項は、現在に至るまで、できるだけ詳細に記入してください。
2. 該当がない項目は、「なし」と記入してください。

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

入学試験出願資格認定審査調書

フリガナ 氏名		現職		
		電話番号		
生年月日(年齢)	昭和・平成 年 月 日(満 歳)	E-Mail		
志望専攻・ プログラム・ コース			希望指導教員	
学 歴 (高等学校卒業時から記入すること。)				
年 月 日	事 項			
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
職 歴				
年 月 日	事 項			
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
研修歴・研究歴等実務経験及び国際的活動経験				
年 月 日	事 項			

令和7年度

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

志望理由書／研究計画書

フリガナ 氏 名		志望専攻・ プログラム・ コース	

(注) 志望動機を、1000字以内で記入してください。
ただし、理学専攻の志願者は、研究計画を1000字以内で記入してください。

令和 年 月 日

事前審査申請書

鹿児島大学大学院
理工学研究科長 殿

フリガナ

志願者氏名(署名)

生年月日 昭和・平成 年 月 日

私は、貴大学大学院理工学研究科博士前期課程（ 専攻
プログラム コース）に入学を志願するにあたり、
事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請します。

審査結果通知書送付宛先

〒	—
住 所	

氏 名	

(注) 情報科学専攻の志願者のみ、コース名を記載してください。

令和7年度
鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

志望理由書

フリガナ 氏 名		志望専攻・ プログラム・ コース	

(注) 志望動機，大学院で学びたいこと，及び自己アピールを，1000字以内で記入してください。

令和 年 月 日

事前審査申請書

鹿児島大学大学院
理工学研究科長 殿

フリガナ

志願者氏名(署名)

生年月日 昭和・平成 年 月 日

私は、貴大学大学院理工学研究科博士前期課程（ 専攻
プログラム コース）に入学を志願するにあたり、
事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請します。

審査結果通知書送付宛先

〒	—
住 所	

氏 名	

(注) 情報科学専攻の志願者のみ、コース名を記載してください。

受験 番号	※
----------	---

社会人特別選抜

受 験 承 諾 書

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程） _____ 専攻
_____ プログラム _____ コースを
志願者 _____ が受験することを承諾します。

令和 年 月 日

（所属・職名）

氏 名 _____ 印

- （注）
1. 受験承諾書の記入者（推薦者）は、勤務先の所属長又は本人を熟知し職場において指導的立場にある者としてします。
 2. 情報科学専攻の志願者のみ、コース名を記載してください。

受験 番号	※
----------	---

別紙様式12

社会人特別選抜

研究(希望)計画書

鹿児島大学大学院理工学研究科

フリガナ 氏名		志望専攻・ プログラム・ コース	専攻 プログラム コース
		希望指導教員	

本様式に1000字以内（英語の場合は500語以内）で作成してください。

受験 番号	※
----------	---

社会人特別選抜

別紙様式13-1

業績（業務）報告書（No.1）

鹿児島大学大学院理工学研究科

フリガナ 氏名	志望専攻・ プログラム・ コース		専攻 プログラム コース
	希望指導教員		
論文題目			
職 歴	勤務期間	勤務先	主な職務内容
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
	年 月～ 年 月		
研究計画に関する過去の職務内容（1000字以内）			

別紙様式13-2

業績（業務）報告書（No.2）

鹿児島大学大学院理工学研究科

氏名		志望専攻・ プログラム・ コース		専攻 プログラム コース
学術論文，研究発表・報告，特許等の名称		発行又は発表の 年，巻，号，頁等	発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称	備考（共著者名又 は共同発表者名）

（注）年代順に記載のこと。また，学術論文等は，別刷又はコピー（5編以内）を添付してください。

入 学 志 願 票
(外国人留学生)

APPLICATION FOR ADMISSION
(MASTER'S COURSE 2025)
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY
(FOR INTERNATIONAL STUDENTS)

個人票
PERSONAL DETAILS

1. 日付 : _____
Date Month Day Year
2. 氏名 (Full Name) : _____ 学籍番号 : _____
Name in native language Family name First name Middle name Student ID
Name in Roman capital _____
Family name First name Middle name Signature
3. 生年月日 : _____ 年齢 : _____
Date of birth Month Day Year Age
4. 性別 : 男 女 5. 国籍 : _____
Sex Male Female Nationality
6. 志望専攻・プログラム・コース : _____
Preferred Department, Program and Course
7. 希望指導教員 : _____
Preferred academic adviser
8. 出身大学 : _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____
University University Faculty Department
attended 卒業・卒業見込み
Date of (expected) graduation Month Year
9. 現職 : 勤務先 _____
Name of company or employer
住 所 _____
Address
Phone _____ Facsimile _____
10. 現住所 : _____
Present address
Phone _____ Cellular Phone _____
E-Mail _____
11. 連絡先 : _____
Mailing address (if different from present address)
Phone _____ Cellular Phone _____
E-Mail _____

2025年度
鹿児島大学大学院理工学研究科
博士前期課程

受 験 票

(外国人留学生)

Identification for Examination

受験番号 Examinee's No.	*		
志望専攻・プログラム・コース Preferred Department, Program and Course			
氏名 Full Name			
生年月日 Date of birth	_____ Month	_____ Day	_____ Year
性別 Sex	男 <input type="checkbox"/> Male	女 <input type="checkbox"/> Female	

切り取って提出してください。→
Please detach.

Note:

Please bring this card to the examination place.

* Leave blank

2025年度鹿児島大学大学院理工学研究科

博士前期課程

写 真 票

(外国人留学生)

Photograph Sheet

受験番号 Examinee's No.	*		
志望専攻・プログラム・コース Preferred Department, Program and Course			
氏名 Full Name			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>Photograph (4cm×3cm)</p><p>Head and shoulders, frontal pose, taken within 3 month</p></div>			

写真を貼付の上,
切り取って提出してください。→
Please detach and affix your photo.

Note: * Leave blank

履 歴 書

RESUME

受験番号
Examinee's No.
*

氏名 (Full Name) :

Name in native language _____
 Family name First name Middle name

Name in Roman capital _____
 Family name First name Middle name _____
 Signature

学 歴

Educational Background

	学校名 Name of school	学校所在地 Location of school	在学期間 Period of attendance		学 位 Degree
			from	to	
初等教育 Elementary education 小学校 Elementary School					
中等教育 Secondary education 中学校及び 高等学校 Junior and Senior High School					
高等教育 Higher education 大学 Undergraduate level					
大学院 Graduate level					

以上を通算した全学校教育修学年数 _____ 年
 Total years of education listed above _____ Years

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。
 Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

履 歴 書
RESUME

職 歴
Employment Record

受験番号
Examinee's No.
*

勤務先名 Name of company or employer	所在地 Location	勤務期間 Period of employment		役職名 Position	職務内容 Type of work
		from	to		

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

入学試験出願資格認定審査調書

SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES (MASTER'S COURSE 2025) GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY

個人票

PERSONAL DETAILS

氏名 (Full Name) :

Name in native language _____
Family name First name Middle name

Name in Roman capital

Family name First name Middle name Signature

生年月日 :

Date of birth _____
Month Day Year

年齢 :

性別 : 男 女

Sex Male Female

国籍 : _____

Nationality

勤務先 _____

Name of company or employer

住所 _____

Address

Phone _____ Facsimile _____

現住所 : _____

Present address

連絡先 : _____

Mailing address (if different from Present address)

Phone _____ Cellular Phone _____

E-Mail _____

志望専攻・プログラム・コース : _____

Preferred Department, Program and Course

希望指導教員 : _____

Preferred academic adviser

入学試験出願資格認定審査調書

SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES (MASTER'S COURSE 2025) GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY

学 歴 Educational Background

	学 校 名	学校所在地	在 学 期 間		学 位
	Name of school	Location of school	Period of attendance		Degree
初等教育 Elementary education 小学校 Elementary School			from	to	
中等教育 Secondary education 中学校及び 高等学校 Junior and Senior High School					
高等教育 Higher education 大学 Undergraduate level					
大学院 Graduate level					

以上を通算した全学校教育修学年数 _____ 年
Total years of education listed above _____ Years

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

入学試験出願資格認定審査調書

SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES (MASTER'S COURSE 2025) GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY

職 歴 Professional Career

勤務先名 Name of company or employer	所在地 Location	勤務期間 Period of employment		職務内容 Description of responsibilities regarding research and development activities
		from	to	

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

入学試験出願資格認定審査調書

**SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES
(MASTER'S COURSE 2025)
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY**

**過去の職歴内容及び社会における活動
Past Professional Experience and Social Activities, if any**

期 間 Period		事 項 Description of activities
from	to	

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

令和7(2025)年度
Admission in 2025

受験番号
Examinee's No.
*

鹿児島大学大学院理工学研究科 博士前期課程
Graduate School of Science and Engineering Kagoshima University
Admission to the Master's Course

検定料収納証明書貼付台紙
Confirmation Slip

氏名 Full Name	
-----------------	--

- コンビニエンスストアでの支払い
A payment at convenience stores
- クレジットカードでの支払い
A payment with your Credit Card

『検定料収納証明書』貼付欄
Official Receipt

◆次のいずれかの方法により支払ってください。

1. コンビニエンスストアでの支払い

(パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください)

- (1) 120ページ「検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、事務手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
- (2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、前ページ「検定料収納証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けてください。
- (3) 支払期限 出願期間最終日の15時まで（「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了60分前まで）

2. クレジットカードでの支払い

(パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください)

- (1) 120ページ「検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、事務手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
- (2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、前ページ「検定料収納証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けてください。
- (3) 支払期限 出願期間最終日の15時まで

◆Please pay the examination fee by one of the following means.

1. Payment at a convenience store

(Please use this option only if you have access to a computer, smartphone, etc.)

- (1) Please refer to 『鹿児島大学検定料払込方法』 (How to pay the examination fee at Kagoshima University) on page 121 and make the payment. Note that the payer is responsible for paying the administrative fee.
- (2) After payment, cut out the 『収納証明書』 (Official Receipt) portion of the 『入学検定料・選考料 取扱明細書』 (Examination Fee and the Screening Fee Receipts) received at the cashier and attach it on the designated area of the 『検定料収納証明書貼付台紙』 (Confirmation Slip) on page 118.
- (3) Payment period: Last day of application period 15:00
(For “Application through the website,” one hour before the end of the payment period.)

2. Payment by credit card

(Please use this option only if you have access to a computer, smartphone, or other environment with a printer.)

- (1) Please refer to 『鹿児島大学検定料払込方法』 (How to pay the examination fee at Kagoshima University) on page 121 and make the payment. Note that the payer is responsible for paying the administrative fee.
- (2) After payment, print out the 『入学検定料・選考料 取扱明細書』 (Examination Fee and the Screening Fee Receipts), cut out the 『収納証明書』 (Official Receipt) portion, and attach it on the designated area of the 『検定料収納証明書貼付台紙』 (Confirmation Slip) on page 118.
- (3) Payment period: Last day of application period 15:00

鹿児島大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。



2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7 ELEVEN

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。
マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppi へ

各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポート へ

代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

クレジットカードでお支払い

VISA **MasterCard** **JCS**

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

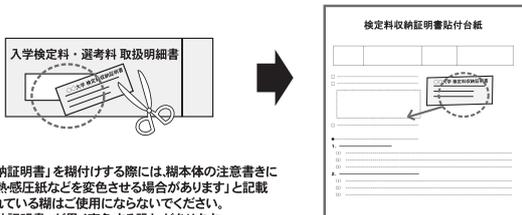
全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会(URL: <https://e-shiharai.net/>) にアクセスして下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。

3 出願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧振などを発色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く発色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼り出願。

<注意>
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。



⚠ 注意事項

- 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。
- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は14:00まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了します。14:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

How to pay the examination fee at Kagoshima University

You can pay the examination fee at convenience stores such as Seven-Eleven, Lawson, Ministop, and FamilyMart, or by credit card 24 hours a day.

Note that the payer is responsible for paying the administrative fee.

1 Application on the Website

Follow the instructions on the screen to enter the required information and obtain the number needed for payment.

<https://e-shiharai.net/>



- *No amendments or cancellations can be made after the card payment is completed. Please check the details carefully before submitting your application.
- *If you notice an input error after getting the number, please do not pay with that number but re-enter the information again to get a new number for payment.
- If you do not pay by the due date, the information you entered will be automatically cancelled.
- *Please make a note of the number that is displayed on the confirmation screen.



2 Payment

A payment at convenience stores

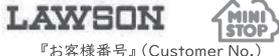
A payment with your Credit Card



『払込票番号』(Payment slip No.) (13-digits)

●At the cashier
Please tell the clerk that you are using the Internet Payment Service and hand over the printed 『払込票』(Payment slip) or give the 『払込票番号』(Payment slip No.).

The multi-copy machine is not used.



『お客様番号』(Customer No.) (11-digits)
『確認番号』(Authorization No.) (4-digits)

To 

『各種サービスメニュー』(Services Menu)

『各種代金・インターネット受付』(Various fees and internet registration)

『各種代金お支払い』(Payment of various fees)

『マルチペイメントサービス』(Multi-Payment Service)

Enter your 『お客様番号』(Customer No.) and 『確認番号』(Authorization No.).

あなたと、コンビニに、


『お客様番号』(Customer No.) (11-digits)
『確認番号』(Authorization No.) (4-digits)

To 

『代金お支払い』(Payment of fee)

『番号入力画面に進む』(Proceed to the number input screen)

Enter your 『お客様番号』(Customer No.) and 『確認番号』(Authorization No.).



Select 『クレジットカード』(Credit Card) as the payment method when you apply online.

Enter the credit card information.

All the information you entered will be displayed, and if it is correct, press 『確定』(Confirm).

After payment, please make sure to receive the 『入学検定料・選考料取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts).

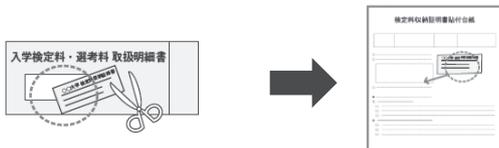
Please pay at the cashier within 30 minutes with the application ticket printed out at “Loppi” or “Famiport”. After payment, be sure to receive a copy of the 『入学検定料・選考料取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts).

Payment is complete. Go to “e-shiharai” (<https://e-shiharai.net/>) and follow the instructions to print out the 『収納証明書』(official receipt).

3 Application

Payment at a convenience store

After payment, cut out the 『収納証明書』(official receipt) portion of the 『入学検定料・選考料取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts) received at the cashier and attach it on the designated area of 『検定料収納証明書貼付台紙』(confirmation slip)



Payment by credit card

After payment, print out the 『入学検定料・選考料取扱明細書』(examination fee and the screening fee receipts), cut out the 『収納証明書』(official receipt) portion, and attach it on the designated area of the 『検定料収納証明書貼付台紙』(confirmation slip)

Attention
Please use this option only if you have access to a computer, smartphone, or other environment with a printer.



- During payment periods and application periods mentioned in the application documents, you can make a payment anytime. Please confirm from application documents and complete payment in time for the application period.
- Application on the website must be completed by 2:00pm on the due date, and operation of the terminal machine at the store must be completed by 3:00pm. If you use a credit card, the payment will be completed at the same time as the application on the website. Please complete the procedure by 2:00pm.
- Please note that refund is not possible once you have made a payment of examination fee.

- It is possible to use a card which carries a name different from that of the applicant. However, please make sure that the information on the basic information page is the applicant's information.
- Please directly contact the credit card company if your card is not accepted.
- The 『収納証明書』(official receipt) can be printed from the 『申込み内容照会』(Application Details Inquiry) page only if you have paid by credit card.
- Note that inquiries about payment of examination fees are not answered at convenience stores. Please check the Web site for details.

For questions or problems not mentioned here, please contact :
E-Service Support Center Tel : +81-3-5952-9052 (24 hours everyday)